



常磐石会

2022年度
常磐会総会
2022年9月4日(日)

敬創策 校訓
愛造和 訓



【表紙について】

私たちが京都高校に通っていた頃（S62.4～H2.3）、図書室・視聴覚室（現在の常磐会館）の周りには、たくさんのキンモクセイの木が並んでいて、秋には、キンモクセイの発するその甘い香りが中庭に漂っていた事が懐かしく感じられます。

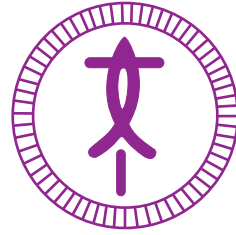
卒業後、三十数年振りに出逢う同窓生たちの思い出と共に、黄色い花とその香りも思い出され、キンモクセイをモチーフに表紙にしました。

題字：伊藤 理奈（旧姓 進・高校42回生）

福岡県立京都高等学校
常磐会総会誌
CONTENTS

- 01 校歌（高女・高校）
- 02 常磐会会長挨拶
- 03 京都高等学校校長挨拶
- 04 実行委員長挨拶
- 05 記念事業
- 06 常磐会総会イベント実績
- 07 常磐会会則
- 08 歴代会長・校長
- 09 常磐会本部役員名簿
- 10 職員一覧
- 11 進路概況
- 12 部活動活動状況
- 13 定時制職員一覧・近況報告
- 14 恩師からのおたより
- 20 卒業生からのおたより
- 27 思い出文集～42回生～
- 28 思い出のアルバム
- 34 協力回生のつどい
- 36 協賛広告
- 80 索引
- 84 実行委員会組織図
- 85 編集後記

京都高等女学校校歌

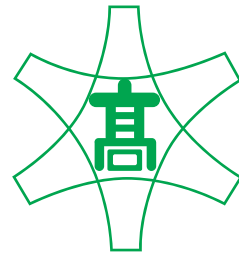


古鏡を表す銀台に七宝で隸書の「京女」を打ち出す。京女を松葉になぞらえ、「常磐」の意味を象徴している。

作詞 小川直熙
作曲 新清次郎

一、京都を名に負う 学の窓に
常磐の契りを 結べる友よ
みくにの前途の 運命を擔ふ
母こそわれらぞ 使命は重し
雅に優しく かざりをいとひ
まごころこめつ、いそしみつとめ
四年の教訓を心に秘めて
母校のほまれを伝へむ永遠に
みやこ みやこ
われらの みやこ

二、英彦の高嶺のごごしき坂を
書籍よむわれの 訓と仰ぎ
周防の大灘 たたふる水の
清きを貞操の 鏡とあがめ
からだをきたへて 皇国につくし
平和の使と 雄々しく立たむ
かくてぞひろがる 母校の誉
いざ声そろえて たたえむその名
みやこ みやこ
われらの みやこ



「京」の字を表す構図の中心に「高」の文字を白く浮き上がらせたもの。

京都高等学校校歌

福井直秋 作曲
島田芳文 作詞

一、風薫る 若き世紀の 朝ぼらけ
揺がぬ姿 英彦山
学びの窓に 仰ぎ見て
ここに誓いし 若人われら
文化の京都 その名もゆかし
ああ躍進の わが母校

二、水清き 尽きぬ流れの 今川の
たゆまず注ぐ 周防灘
真理の深さ 究めつつ
ここに競わん われらが腕
希望は冴えて 聖火は燃ゆる
ああ新興の 意気昂し

三、天地の 恵み豊かに 野に充ちて
夕陽に映ゆる 平尾台
聞け遙かなる 自治の鐘
ここに築かん 理想の庭を
友愛清く 華吹き乱る
ああ青春の この三歳

四、爽やかに 若き眸の 眉あげて
見よ美わしの 常磐木は
わが学び舎の 誇りなり
ここに創らん われらが歴史
校風永遠に 輝きわたる
ああ栄光の わが母校



常磐会会長

和田雄二

(高校31回生)

常磐会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年10月開催の2021年度総会におきまして、若山前会長からバトンを引き継ぐこととなりました。若山前会長におかれましては、十六年間の長きにわたり会長としてお務めいただき、大変ありがとうございました。そしてお疲れ様でした。今後とも常磐会顧問として、変わらぬお力添えをいただきたいと存じます。

私は、2016(平成28)年度より、副会長をなんとか務めさせていただいておりましたが、コロナ禍がピークの2021年3月に定年退職を迎え、静かに第二の人生をスタートいたしましたところ、このような大役を仰せつかることとなり、緩んだ気持ちと身体が改めて引き締まる思い

であります。今後は、常磐会の「常磐」が意味する「永久不変」の歴史と伝統を引き継ぎ、熟慮断行の精神で臨みたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、2020年の年初から新型コロナウイルス感染症のまん延、いわゆる「コロナ禍」が続いており、常磐会においても、2020年から2年間は、総会事業も縮小し、息をひそめる日々が続いておりますが、最近では感染者数も減少傾向が続き、本年6月1日に福岡県コロナ警報も解除され、アフターコロナへの動きが見え始めてまいりました。

このような状況ではありますが、まだ完全にコロナ禍が解消されたわけではありませんので、本年度の総会実行委員会の皆様は、感染予防対策に留意しながら、なんとか平常時

の総会事業を取り戻そうと努力され、準備を進めてこられました。

本年度の総会実行委員会は、平成2年卒業の高校42回生・定時29回生、平成15年卒業の高校55回生、平成27年卒業の高校67回生の皆様です。原田幸一実行委員長を中心に、各実行委員がSNSをうまく利用しながら取りまとめ、「協力回生のつどい」も2019年度以来3年ぶりに開催する運びとなりました。

コロナ禍からの夜明けが感じられ、気持ちが昂る思いであります。実行委員の皆様のご熱心とご努力により感謝申し上げます。

会員の皆様には、総会当日は「協力回生のつどい」と同様に、無理せず可能な範囲での参加をいただきますようお願いいたします。当然のことながら感染防止対策には万全を期す所存ですので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

また、本年度総会の開催にあたり、協賛していただきました皆様、コロナ禍が長引き大変な状況の中にもかかわらず、多大なるご協力を賜りまして、心よりお礼申し上げます。皆様のご厚意は、総会事業の運営、そして現役京都高校生への援助にと、大切に使わせていただきます。

常磐会の広報活動としては、年刊「常磐会報」と不定期となりますが「常磐会会員名簿」を発行しておりますが、これに加えて、長年の懸案でありました「福岡県立京都高等学校同窓会常磐会公式ホームページ」を、この6月に開設いたしました。

常磐会の活動に関するお知らせ、常磐会の会則等、写真館、同窓生の活躍、常磐会報と総会誌のバックナンバー、会員名簿の住所等変更届出フォーム等が閲覧、利用できるようになっておりますので、ぜひご利用ください。

URL、QRコードは、次のとおりです。懐かしいのは「校歌」のページで、高女・高校の校歌と一緒に「応援歌」が音声として聴ける場所です。お試しあれ。

最後になりますが、コロナ禍に負けずに頑張る母校京都高校のさらなる躍進と、同窓会常磐会のみずみずしい発展をご祈念申し上げて、私のあいさつとさせていただきます。

○常磐会公式ホームページURL

<https://dousoukai.site/miyako-tokiwakai/>





校長

執行和彦

(高校34回生)

本年度四月の異動で、土田前校長の後任として赴任しました執行と申します。

令和四年度常磐会総会の開催にあたり、心からお慶び申し上げます。今年度の実行委員長をはじめ当番回生の皆様、新型コロナウイルスの影響もまだまだ残る中ではありますが、総会に至るまでには並々ならぬご苦労があったことと存じます。それを乗り越えての開催に、当番回生の強い絆、大きな母校愛を感じるところです。

また、常磐会の皆様におかれましても、日頃から物心両面におきまして、母校京都高校をご支援いただき、深く感謝しております。

さて、私事ではありますが、私は本校卒業三十四回生であります。ちょうどこの総会の中当番(三十八

歳)の時に京都高校の職員として赴任し、事務局をお世話させていただきました関係で、常磐会の皆様とはご縁をいただいている者です。

その後、いったん母校を離れましたが、九年ぶりに母校へ戻していただけることとなりました。教師として本当に光栄であり幸せなことではありますが、反面、この歴史と伝統ある母校の管理職として、「はたして自分で大丈夫なのであるか」と、その任の重さをひしひしと感じているところです。力不足ではありますが、どうぞよろしく願っています。

母校京都高校は現在、全日制において、一学年六クラスの編成で、生徒たちは、勉学に学校行事に部活動にと日々励んでいます。平成二十七年から平成三十一年度まで文部科学省研究開発指定スーパーグ

ローバルハイスクール(通称SGH)を受け、その教育課程を大きく改定し、現在はその基本的考え方を継承し、「グローバル人材育成」を柱に、生徒たちが自ら学びを深めてく教育活動に取り組んでいます。また、定時制においては、多様な生徒たちが本校で学び、職員も「多様性」を基本とした教育活動の充実に取り組んでいます。

私自身は、まだ赴任して五か月ほどしか経っておらず、現在の生徒たちの状況を正確に掴んでいるとはいえませんが、全日制において、六月に実施しました体育大会を見て、生徒の能力の高さ、人間力の高さに大きな感動を受けました。今年の三年生は、新型コロナウイルスの影響により、一、二年生の学校行事がごとく中止となった学年であり、今年また学校全体での行事を未経験の生徒達でもあります。しかし、延期になっていた修学旅行を四月に見事成功させ、六月には一、二年生を統率し、体育大会を素晴らしいものへと作り上げました。

また、この総会当日には(この原稿を書いているときには先のことですが)、文化祭も成功裏に終えることと思えます。

この行事を作り上げていく力は、これから生徒たちが生きていく激動の社会では、最も必要とされている力であり、やがて本校を巣立ち大きく羽ばたいていく生徒たちの明るい未来を象徴するものでもあります。

そのような生徒たちの進路実現に向けて職員一丸となって支えていく所存であります。生徒たちが自らの希望する進路を実現し、自分の未来を切り開いていく第一歩を踏み出すことを願ってやみません。同窓会の皆様におかれましては、京都奨学会を通じて、奨学金の授与をはじめ、昨年度から大きな支援をいただいております京都研修等、様々な場面で、学校では補うことのできない大きなご支援をいただき大変感謝しております。

今後とも、より一層のご支援を賜りますことをお願いし、常磐会並びに母校京都高校の更なる発展を祈念いたしました。ご挨拶とさせていただきます。



実行委員長

原田 幸一

(高校42回生)

2022年度常磐会実行委員長の高校42回生の原田幸一です。本年度当番回生である高校42、55、67回生、定時29回生を代表してご挨拶申し上げます。

コロナ禍の中で人の動きが制限され、社会生活に大きな変化が生じ、常磐会の活動においても、この2年間大きな影響を受けました。昨年度の当番回生である41回生の先輩方が、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置で会場の使用が制限されたことよって、会議やイベント等の

開催が難しい中、苦勞して何とか総会の開催を成功させました。その姿を見て、自分たちも先輩方を見習って、常磐会総会をコロナ前の姿で開催できるよう頑張ろうと心に誓いました。

最初は、数人から始まった実行委員会も回数を重ねるごとに少しずつ人数が増えてきました。久しぶりに再会する友人や在校中には会話もしたことのない同級生たちと議論を交わすことで、時を超えた友情と絆を再確認することができました。そこで私たちは今年度の常磐会総会ス

ローガンを「君を友に みんなと共に（今を楽しく）」と掲げ、準備を進めることにしました。その準備を進めていく中で、同級生や55、67回生の後輩たちと協力し合い、時にはぶつかり合い、何とか従来通りに協力回生のつどいと総会・懇親会・総会記念イベントを開催できる目途が立ちました。あとは何事もなく成功を祈るばかりです。

私たち42回生は、平成2年3月に京都高校を卒業し、32年の年月が経過しました。50歳という節目の年に当番回生を迎え、同級生たちと話す中で、自分だけでなく同級生の子どもたちが京都高校の生徒としてお世話になってることを聞き、自分たちが京都高校に通っていた時には、まったく想像もできなかったことです。年齢を重ねるにつれ、私たちの母校である京都高校とその同窓会である「常磐会」の伝統の重さをひし

ひしと感じているところです。自分たちの子どもとその友人たちにもその伝統の重さと友情の大切さを伝えていけたらと考えております。

今年度の総会記念イベントの第一部においては、コロナ禍で演奏の機会が減っている母校京都高校吹奏楽部に出演を依頼しました。

また、第二部では、女優としてシリアスからコメディに至るまで幅広いジャンルのドラマや映画で活躍されている財前直見さんをお招きし、「考え方で生き方が変わる今を楽しく！」をテーマにご講演いただきます。来場される皆様には、楽しい時間を過ごしていただければ幸いです。

末筆ではありますが、貴重な協賛広告を賜りました企業、地元、同窓生のみなさま、本当にありがとうございます。

また、多くの助言や協力をいただきました和田会長を始め常磐会役員のみなさま方、山中前実行委員長並びに41回生の先輩方、常磐会事務局長の玉江先生、大変お世話になりました。

コロナが終息し、来年度以降も常磐会総会・懇親会・記念イベントが盛大に開催されることを期待し、また母校京都高校と常磐会の益々のご発展を祈念いたしまして実行委員長のご挨拶とさせていただきます。





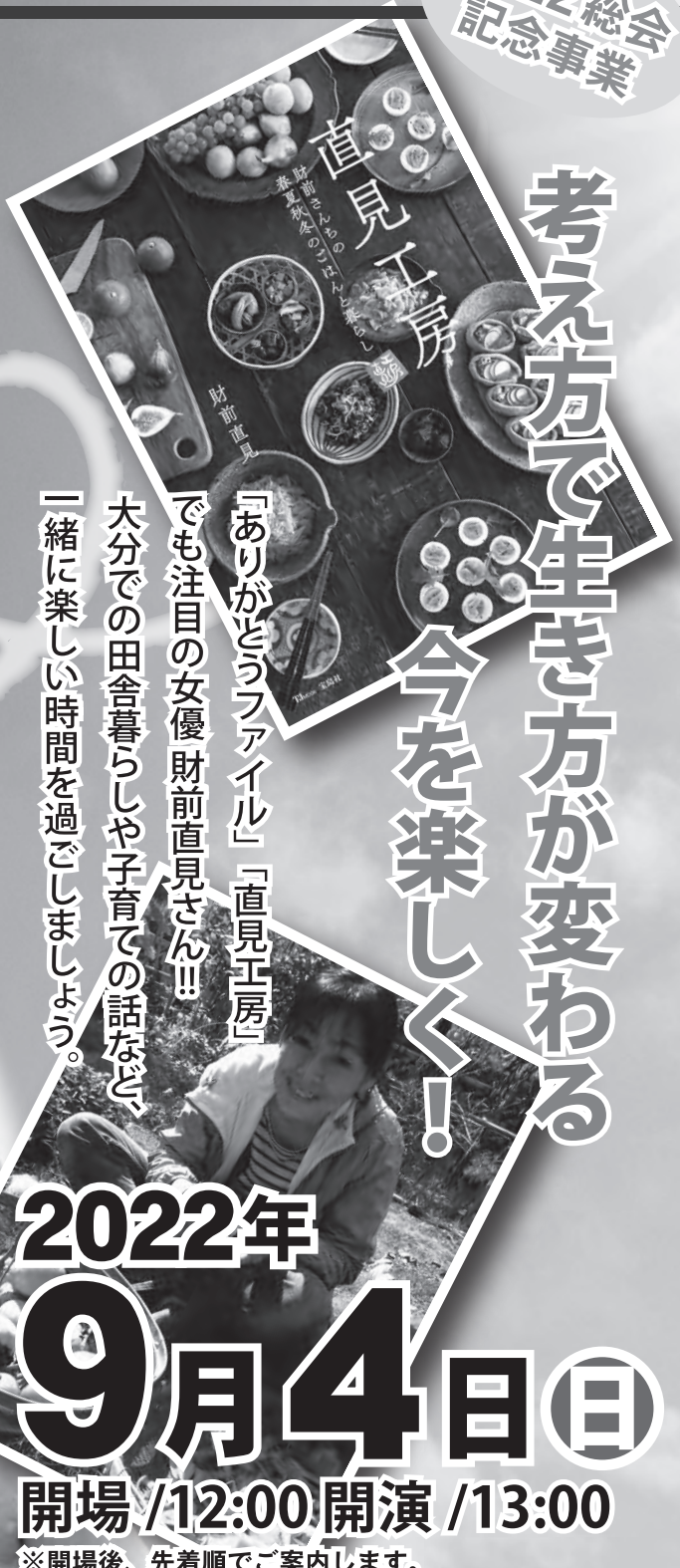
福岡県立京都高等学校同窓会「常磐会」

2022 総会
記念事業

第1部特別演奏会
京都高等学校吹奏楽部



ゲスト
スピーカー
女優
財前直見
さん



考え方で生き方が変わる
今を楽しく!

「ありがとうファイル」「直見工房」
でも注目の女優財前直見さん!!!
大分での田舎暮らしや子育ての話など
一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

会場

コスメイト行橋

文化ホール (行橋市中央 1-9-3)

チケット

2,000円 全席自由

2022年

9月4日(日)

開場 / 12:00 開演 / 13:00

※開場後、先着順でご案内します。

常磐会総会イベント実績

1989 (H 1)	講演「ジェームス三木」	〈行橋市民会館〉
1990 (H 2)	講演「ケント・ギルバート」	〈行橋市民会館〉
1991 (H 3)	講演「武田 イク」	〈行橋市民会館〉
1992 (H 4)	講演「橋家 園蔵」	〈行橋市民会館〉
1993 (H 5)	講演「小川 宏」	〈コスメイト行橋〉
1994 (H 6)	講演「ケーシー高峰」	〈京都ホテル〉
1995 (H 7)	講演「井川 良久」	〈京都ホテル〉
1996 (H 8)	「GS チャリティフェスティバル」	〈行橋市民会館〉
1997 (H 9)	劇「銀河鉄道の夜」(真夏座)	〈コスメイト行橋〉
1998 (H 10)	講演「舛添 要一」	〈行橋市民会館〉
1999 (H 11)	講演「クロード・チアリ」	〈京都高校体育館〉
2000 (H 12)	能・狂言「野村 萬斎 他」	〈行橋市民会館〉
2001 (H 13)	講演「桂 文珍」	〈行橋市民会館〉
2002 (H 14)	講演「宮本 隆治」元 NHK アナウンサー	〈行橋市民会館〉
2003 (H 15)	講演「生島 ヒロシ」	〈行橋市民会館〉
2004 (H 16)	講演「倍賞 千恵子」	〈行橋市民会館〉
2005 (H 17)	講演「辻村 寿三郎」	〈行橋市民会館〉
2006 (H 18)	独演会「春風亭 小朝」	〈行橋市民会館〉
2007 (H 19)	「山下 洋輔ニューカルテット」JAZZ コンサート	〈行橋市民会館〉
2008 (H 20)	講演「童門 冬二」	〈行橋市民会館〉
2009 (H 21)	講演「松山 千春」	〈行橋市民会館〉
2010 (H 22)	精華女子高等学校吹奏楽部演奏会	〈行橋市民会館〉
2011 (H 23)	講演「金 美齢」	〈行橋市民会館〉
2012 (H 24)	講演「武田 邦彦」	〈行橋市民会館〉
2013 (H 25)	京都寄席 The Rakugo ! 「円楽独演会」	〈行橋市民会館〉
2014 (H 26)	「桂 文枝」講演会	〈行橋市民会館〉
2015 (H 27)	「鈴木 明子」講演会	〈行橋市民会館〉
2016 (H 28)	「桑田 真澄」講演会	〈行橋市民会館〉
2017 (H 29)	「渡部 陽一」講演会	〈コスメイト行橋〉
2018 (H 30)	「中村 文昭」講演会	〈コスメイト行橋〉
2019 (R 1)	「齋藤 孝」講演会	〈コスメイト行橋〉
2020 (R 2)	欧州街紀行「中川淳一」アンサンブルコンサート	〈コスメイト行橋〉
2021 (R 3)	「堀井 智帆」講演会 ※中止	〈みやこホテル〉
2022 (R 4)	「財前 直見」講演会	〈コスメイト行橋〉



常 磐 会 会 則

- 第1条** (名称) 本会は福岡県立京都高等学校常磐会と称え、本部事務局を母校内に置く。
- 第2条** (目的) 本会は母校を中心として会員相互の連絡親睦を深め、併せて各自の知徳の向上発展を図り、母校の名誉の発揚に寄与することを目的とする。
- 第3条** (構成) 本会の会員は通常会員（福岡県立京都高等学校全日制、定時制、福岡県立京都高等女学校及び併置中学校・専攻科の各卒業生）及び特別会員（同校現職員及び旧職員）よりなる。
- 第4条** (事業) 本会は目的を達成するために次の事業を行なう。
(1) 毎年本校卒業時、新入会員の歓迎をかねて入会式を行なう。
(2) 会報、会員名簿の発行。
(3) 母校の教育振興、会員の親睦向上のために必要と認められる行事。
(4) その他必要と認められる行事。
- 第5条** (機関) 本会本部に次の機関を置く。
(1) 総 会 総会は本会の最高議決機関であって会員全体で構成し、原則として、毎年8月もしくは9月に開く。また会長が必要と認めるときは臨時にこれを開くことができる。
(2) 役員会 役員会は総会に次ぐ議決機関であって第7条に定める役員を以て構成する。
(3) 幹事役員会 幹事役員会は会長の諮問に応じ、必要事項を審議する。幹事役員は会長が委嘱する。
(4) 事務局 事務局は本会の会務運営上の事務記録を処理し、会計を掌る。
- 第6条** (支部) 都道府県市町村内または職場に本会支部を置くことができる。
- 第7条** (役員) 本会に次の本部役員を置く。
- | | | |
|-------------|----|--------------------------|
| 会 長 | 1名 | 役員会が推薦し、総会の承認を得る。 |
| 名誉会長 | 1名 | 現職校長 |
| 副会長 | 2名 | 会長が推薦し、総会の承認を得る。 |
| 名誉副会長 | | 現職教頭及び現職事務長 |
| 顧 問 | | 会長が推薦し、役員会の承認を得る。(会長経験者) |
| 名誉顧問 | | 会長が推薦し、役員会の承認を得る。 |
| 監 査 | 2名 | 会長が推薦し、役員会の承認を得る。 |
| 前年度総会実行委員長 | 1名 | 前年度の総会実行委員長 |
| 当年度総会実行委員長 | 1名 | 当年度の総会実行委員長 |
| 支部長 | | 各支部より1名 |
| 回生代表 | | 各回生より1名 |
| 前事務局長 | 1名 | 直前事務局長 |
| 事務局長 | 1名 | 本会会員で現職員 |
| 事務局次長 | 1名 | 同上 |
| 学校内幹事(事務局員) | | 同上 |
- 第8条** (役員の仕事)
- | | |
|-------------|------------------------------------|
| 会 長 | 会長は会務を総括し、会合を主宰し、会を代表する。 |
| 副会長 | 副会長は会長を補佐し、会長不在のときはこれを代行する。 |
| 顧 問 | 会長の相談に応じる。 |
| 監 査 | 本会の会計を監査する。 |
| 当年度総会実行委員長 | 当年度当番回生を代表し、総会の企画・運営をし、総会誌を発行する。 |
| 支部長 | 支部を統括し、運営する。 |
| 回生代表 | 当該回生を代表し、回生内の連絡調整を図る。 |
| 事務局長 | 事務局長は本部事務局を統括し、運営する。 |
| 事務局次長 | 事務局次長は事務局長を補佐し、事務局長が不在のときはこれを代行する。 |
| 学校内幹事(事務局員) | 事務を掌り、処理する。 |
- 第9条** (任期) 役員の仕事は2年とするが留任を妨げない。欠員が生じたときは役員会において選出する。ただし、任期は前任者の残任期間とする。
- 第10条** (会計) 本会の経費は入会金、寄付金、その他の収入を以て充てる。会員は入会金として12,200円を納入することとする。
- 第11条** (会計報告) 本会の会計年度は4月1日より始まり翌年3月末日に終る。会費の収支決算は総会において報告し、承認を得る。
- 第12条** (会則改正) 改正は総会の出席者の過半数の議決を要する。
- 付 則**
- ・この会則は昭和47年8月より実施する。
 - ・昭和60年8月一部改正。
 - ・平成10年8月一部改正。
 - ・平成17年9月一部改正。
 - ・平成9年8月一部改正。
 - ・平成13年9月改正。
 - ・平成25年9月一部改正。

歴代会長・校長

◎歴代会長

初代	2代	3代	4代	5代	6代	7代	8代	9代	10代	11代	12代	13代	14代
有松	中尾	白櫛	八田	石田	藤田	柳田	和田	山路	白井	鍵山	尾形	若山	和田
藤代	夕二	陸子	三千代	ハル子	春子	照子	秀枝	英彦	末利	俊輔	知文	直樹	雄二
会長	会長	会長	会長	会長	会長	会長	会長	会長	会長	会長	会長	会長	会長
(昭和24年約半年間)	(昭和24年～27年約3年間)	(昭和27年約半年間)	(昭和27年～29年約2年間)	(昭和29年約半年間)	(昭和29年～33年約4年間)	(昭和33年～35年約2年間)	(昭和35年～42年約7年間)	(昭和42年～53年約11年間)	(昭和53年～62年約9年間)	(昭和62年～平成10年約11年間)	(平成10年～17年約7年間)	(平成17年～令和3年約16年間)	(令和3年)

◎歴代校長

氏名

(就任年月日)

初代	2代	3代	4代	5代	6代	7代	8代	9代	10代	11代	12代	13代	14代	15代	16代	17代	18代
中川	大森	合屋	小川	松本	浜上	和田	荻原	八田	木村	古谷	大堀	富本	田頭	米田	林	小袋	香月
直亮	実	武城	直熙	寛吉	宝作	熊彦	豊	静夫	利雄	弘	孝生	平	喬	栄一	真澄	是郎	晴美
(大正6年3月28日)	(大正9年3月23日)	(大正10年8月25日)	(大正15年9月27日)	(昭和5年5月22日)	(昭和11年3月31日)	(昭和15年4月30日)	(昭和22年5月20日)	(昭和25年4月1日)	(昭和27年5月19日)	(昭和30年5月8日)	(昭和34年4月6日)	(昭和38年4月17日)	(昭和44年4月1日)	(昭和47年4月1日)	(昭和51年4月1日)	(昭和56年4月1日)	(昭和59年4月1日)
19代	20代	21代	22代	23代	24代	25代	26代	27代	28代	29代	30代	31代	32代	33代	34代	35代	36代
鳥尾	吉國	岡泰	梶原	山本	山中	金光	大下	大垣	亀田	武吉	中村	高須	丸内	田中	木部	土田	執行
恒美	岩一	泰司	辯二	隆生	英彦	克彦	一幸	洋之	陽一	潤恆	雅光	毅	浩子	勝志	秀夫	彦	彦
(昭和62年4月1日)	(平成元年4月1日)	(平成4年4月1日)	(平成6年4月1日)	(平成9年4月1日)	(平成11年4月1日)	(平成13年4月1日)	(平成14年11月1日)	(平成17年4月1日)	(平成19年4月1日)	(平成21年4月1日)	(平成24年4月1日)	(平成26年4月1日)	(平成27年4月1日)	(平成28年4月1日)	(平成30年4月1日)	(平成31年4月1日)	(令和4年4月1日)



常磐会本部役員名簿

役 職	回 生	氏 名
会 長	高 31	和 田 雄 二
名 誉 会 長	校 長	執 行 和 彦
副 会 長	高 35	田 原 康 行
〃	高 39	辛 嶋 智 恵 子
名 誉 副 会 長	事 務 長	齋 藤 吉 則
〃	教 頭 (全)	玉 置 康 博
〃	教 頭 (定)	新 澤 和 幸 利
顧 問	高 4	白 井 末 利
〃	高 5	山 路 英 彦
〃	高 8	鍵 山 俊 輔
〃	高 15	尾 形 知 文
〃	高 22	若 山 直 樹
監 査	高 21	大 久 保 正 信
〃	高 39	江 本 庸 時
前年度総会実行委員長	高 41	山 中 あ ゆ み
当年度総会実行委員長	高 42	原 田 幸 一
福岡支部長	高 8	仲 村 晴 子
回 生 代 表	卒 業 年	氏 名
高女 25 回生代表	昭 18 年 卒	友 田 房 子
高女 30 回生 〃	昭 23 〃	品 川 洋 子
高校 3 回生 〃	昭 26 〃	廣 松 順 子
高校 4 回生 〃	昭 27 〃	小 野 秀 明
高校 5 回生 〃	昭 28 〃	浜 田 哲 郎
高校 6 回生 〃	昭 29 〃	大 江 国 友
高校 7 回生 〃	昭 30 〃	小 松 止 男
高校 8 回生 〃	昭 31 〃	伊 藤 繁 隆
高校 9 回生 〃	昭 32 〃	佐 藤 護 彦
高校 10 回生 〃	昭 33 〃	塩 塚 誠
高校 11 回生 〃	昭 34 〃	山 内 公 二
高校 12 回生 〃	昭 35 〃	角 谷 健 一
高校 13 回生 〃	昭 36 〃	向 井 啓 司
高校 14 回生 〃	昭 37 〃	松 下 清
高校 15 回生 〃	昭 38 〃	豊 守 斉
高校 16 回生 〃	昭 39 〃	白 井 啓 吉
高校 17 回生 〃	昭 40 〃	佐 藤 政 治
高校 18 回生 〃	昭 41 〃	藤 木 巧 一
高校 19 回生 〃	昭 42 〃	野 本 俊 一
高校 20 回生 〃	昭 43 〃	豊 瀬 尉
高校 21 回生 〃	昭 44 〃	有 門 信 芳
高校 22 回生 〃	昭 45 〃	石 田 慶 三 郎
高校 23 回生 〃	昭 46 〃	松 本 高 彦
高校 24 回生 〃	昭 47 〃	古 谷 芳 樹
高校 25 回生 〃	昭 48 〃	池 田 孝 博
高校 26 回生 〃	昭 49 〃	大 下 敏 雄
高校 27 回生 〃	昭 50 〃	内 田 克 彦
高校 28 回生 〃	昭 51 〃	浦 杉 幸 雄
高校 29 回生 〃	昭 52 〃	小 野 誠 子
高校 30 回生 〃	昭 53 〃	森 辰 彦
高校 31 回生 〃	昭 54 〃	和 田 雄 二
高校 32 回生 〃	昭 55 〃	中 村 浩 行
高校 33 回生 〃	昭 56 〃	宗 裕
高校 34 回生 〃	昭 57 〃	執 行 和 彦
高校 35 回生 〃	昭 58 〃	田 原 康 行
高校 36 回生 〃	昭 59 〃	高 城 喜 典
高校 37 回生 〃	昭 60 〃	大 村 重 彦
高校 38 回生 〃	昭 61 〃	磯 田 卓 也
高校 39 回生 〃	昭 62 〃	江 本 庸 時
高校 40 回生 〃	昭 63 〃	渡 邊 克 紀

回 生 代 表	卒 業 年	氏 名
高校 41 回生代表	平 元 年 卒	大 村 安 則
高校 42 回生 〃	平 2 〃	原 田 幸 一
高校 43 回生 〃	平 3 〃	森 上 誠
高校 44 回生 〃	平 4 〃	豊 瀬 敦
高校 45 回生 〃	平 5 〃	山 田 卓
高校 46 回生 〃	平 6 〃	土 肥 正 典
高校 47 回生 〃	平 7 〃	篠 田 浩 平
高校 48 回生 〃	平 8 〃	中 野 充
高校 49 回生 〃	平 9 〃	村 上 和 也
高校 50 回生 〃	平 10 〃	毛 利 敏 徳
高校 51 回生 〃	平 11 〃	村 上 剛 史
高校 52 回生 〃	平 12 〃	藤 井 樹
高校 53 回生 〃	平 13 〃	右 田 篤 志
高校 54 回生 〃	平 14 〃	宮 下 壽 文
高校 55 回生 〃	平 15 〃	吉 留 雄 介
高校 56 回生 〃	平 16 〃	友 清 貴 文
高校 57 回生 〃	平 17 〃	二 見 真 紀 人
高校 58 回生 〃	平 18 〃	細 川 早 斗
高校 59 回生 〃	平 19 〃	照 本 旭 生
高校 60 回生 〃	平 20 〃	馬 場 亮 介
高校 61 回生 〃	平 21 〃	有 久 将 司
高校 62 回生 〃	平 22 〃	日 隈 優 介
高校 63 回生 〃	平 23 〃	前 田 恵 佑
高校 64 回生 〃	平 24 〃	鱒 淵 聡 志
高校 65 回生 〃	平 25 〃	隅 田 拓 磨
高校 66 回生 〃	平 26 〃	定 野 弘 希
高校 67 回生 〃	平 27 〃	浜 里 俊 吾
高校 68 回生 〃	平 28 〃	白 川 魁 星
高校 69 回生 〃	平 29 〃	久 保 義 己
高校 70 回生 〃	平 30 〃	浅 富 義 徳
高校 71 回生 〃	平 31 〃	末 松 憲 児
高校 72 回生 〃	令 2 〃	檉 本 光 太 郎
高校 73 回生 〃	令 3 〃	村 田 明 弘
高校 74 回生 〃	令 4 〃	高 橋 末 朋
定時制高校 2 回生代表	昭 38 〃	中 山 克 己
定時制高校 6 回生 〃	昭 42 〃	大 平 英 明
定時制高校 19 回生 〃	昭 55 〃	石 川 國 孝
定時制高校 20 回生 〃	昭 56 〃	坪 根 能 度
校 内 役 職	回 生	氏 名
校 長	高 34	執 行 和 彦
教 頭 (定)	高 42	新 澤 和 幸
事 務 局 長	高 37	玉 江 俊 樹
事 務 局 次 長	高 31	北 川 敏 行
学 校 内 幹 事	高 31	岡 崎 邦 明
〃	高 32	山 田 な お み
〃	高 34	厩 谷 み ゆ き
〃	高 44	青 木 直 剛
〃	高 47	田 中 久 美 子
〃	高 49	石 松 久 美 子
〃	高 54	椋 本 俊 輔
〃	高 56	上 森 史
〃	高 58	細 川 早 斗
〃	高 58	山 野 彰 子
〃	高 61	甲 木 佑 佳
〃	高 63	斉 藤 友 香
〃	高 64	村 岡 匠
〃	高 65	石 橋 優 奈
〃	高 65	高 木 健 太 郎



職 員 一 覧

職 名	氏 名	担当教科	職 名	氏 名	担当教科
校 長	執 行 和 彦		教 諭	在 津 元 敬	保健体育
事 務 長	齋 藤 吉 則		教 諭	持 永 雄 亮	保健体育
教 頭	玉 置 康 博		教 諭	日 吉 晶 之	保健体育
教 諭	席 谷 みゆき	国 語	教 諭	岡 野 聡 未	保健体育
教 諭	増 田 友佳子	国 語	常 勤 講 師	高 木 健太郎	保健体育
教 諭	細 川 早 斗	国 語	非常勤講師	岡 田 清 隆	芸術(美術)
教 諭	東 園 優 奈	国 語	非常勤講師	松 田 ひとみ	芸術(音楽)
教 諭	高 島 麻 緒	国 語	非常勤講師	大 森 アユミ	芸術(書道)
常 勤 講 師	若 松 信 爾	国 語	教 諭	伊 藤 睦 浩	外国語(英語)
教 諭	岡 崎 邦 明	地歴(地理)	教 諭	黄 原 三 佳	外国語(英語)
教 諭	山 野 彰 子	地歴(地理)	教 諭	青 木 直 剛	外国語(英語)
教 諭	林 義 大	地歴(日史)	教 諭	横 山 笛 美	外国語(英語)
教 諭	斉 藤 友 香	地歴(世史)	教 諭	田 中 香 織	外国語(英語)
非常勤講師	横 田 浩 之	地歴(歴史)	教 諭	永 山 雄 一	外国語(英語)
主 幹 教 諭	石 松 久 美	公 民	教 諭	内屋敷 強	外国語(英語)
教 諭	坂 井 道 孝	数 学	教 諭	長 田 翔 大	外国語(英語)
教 諭	井無田 雅 博	数 学	非常勤講師	野 口 逸 子	外国語(英語)
教 諭	陶 山 陽 一	数 学	非常勤講師	佐々木 康 人	外国語(英語)
教 諭	山 本 優 子	数 学	指 導 教 諭	開 田 涼 子	家 庭
教 諭	清 水 裕 子	数 学	常 勤 講 師	山 本 智 美	情 報
教 諭	溝 口 信 也	数 学	養 護 教 諭	福 田 瞳	
教 諭	柴 田 克 哉	数 学	スクールカウンセラー	神 庭 喜 子	
教 諭	入 江 香 織	数 学			
教 諭	南 波 和 昭	理科(化学)	事務職員		
教 諭	北 川 敏 行	理科(化学)	事 務 主 査	定 野 恵 美	
教 諭	古 田 成 寿	理科(物理)	主 任 主 事	村 岡 匠	
教 諭	田 中 久美子	理科(生物)	主 事	木 良 望	
教 諭	椋 本 俊 輔	理科(物理)	事務主査(司書)	土 橋 奈緒美	
教 諭	甲 木 佑 佳	理科(化学)	主任技能員	森 美 子	
教 諭	大 賀 樹	理科(生物)	主任技能員	村 上 健 治	
常 勤 講 師	後 藤 直 樹	理科(物理)	技 能 員	山 田 正 則	
期限付実習助手	上 森 史	理 科	P T A	山 田 なおみ	
主 幹 教 諭	玉 江 俊 樹	保健体育	P T A	小 山 明 菜	



令和3年度 進路概況

進路指導主事 増田 友佳子

2年目を迎えた大学入学共通テストは大きく難化し、平均点が大幅にダウンしました。昨年同様、複数の資料、図などから情報を読み取って考察する力が重視され、思考力を問う姿勢がより鮮明となっております。そのような中、難関大学に積極的に挑戦する生徒が増加し、医学部医学科、薬学部薬学科にも見事に現役合格を果たしました。

今年度の入試についてもなおコロナ禍の影響が残り、地元志向や医療関係など資格系統の人気の続くことが予想されます。また、大学入試改革は継続中であり、学校推薦型選抜や総合型選抜の募集枠が年々拡大しております。本校においても学校推薦型・総合型に多数の受験生がチャレンジする見込みです。

今年度の3年生は、新型コロナウイルス感染症のための全国一斉休校の実施中に入学してきた学年です。これまで様々な学校行事の中止や延期を余儀なくされてきましたが、昨年度秋には京都研修、今年度は修学旅行、体育大会を実施することができました。主体的に学校行事に取り組み、仲間とともに過ごす喜びを実感し、学習にも前向きに取り組んでいます。今できることに全力で取り組み、情報収集を行い、進路実現への思いを確かなものにしていってまいります。全員の希望進路実現に向けて、学校全体で精一杯、3年生を支えてまいります。

令和3年度 国公立大学合格者数（既卒生を含む）

設立	大学名	学部	人数	設立	大学名	学部	人数	設立	大学名	学部	人数
国立	弘前大学	農学生命科学部	1	国立	佐賀大学	芸術地域デザイン学部	1	公立	下関市立大学	経済学部	5
	東京外国語大学	国際社会学部	1			農学部	1		山口県立大学	社会福祉学部	1
	福井大学	国際地域学部	1		長崎大学	医学部	1			国際文化学部	2
	鳥取大学	工学部	1			工学部	3		山陽小野田市立	薬学部	1
	島根大学	生物資源科学部	1		熊本大学	文学部	1		山口東京理科大学	工学部	2
		総合理工学部	1			法学部	1		高知工科大学	環境理工学群	1
	岡山大学	医学部	1			工学部	1		北九州市立大学	外国語学部	3
	広島大学	生物生産学部	1		宮崎大学	工学部	1			経済学部	2
	山口大学	教育学部	2			農学部	1			国際環境工学部	2
		医学部	1		大分大学	理工学部	1			地域創生学群	2
		農学部	2		鹿児島大学	医学部	1			文学部	5
		人文学部	1			工学部	1			法学部	3
		経済学部	1			教育学部	1		福岡県立大学	看護学部	4
	福岡教育大学	教育学部	3		琉球大学	教育学部	1			人間社会学部	9
	九州大学	教育学部	1	公立	横浜市立大学	国際商学部	1		長崎県立大学	経営学部	2
		経済学部	1		兵庫県立大学	国際商経学部	1			地域創造学部	1
	九州工業大学	工学部	3		島根県立大学	地域政策学部	1		熊本県立大学	文学部	1
		情報工学部	7			看護栄養学部	1		宮崎県立看護大学	看護学部	1
	佐賀大学	理工学部	1		岡山県立大学	デザイン学部	1		名桜大学	人間健康学部	1
		経済学部	1			情報工学部	1			国際学群	1
		医学部	1								

み、仲間とともに過ごす喜びを実感し、学習にも前向きに取り組んでいます。今できることに全力で取り組み、情報収集を行い、進路実現への思いを確かなものにしていってまいります。全員の希望進路実現に向けて、学校全体で精一杯、3年生を支えてまいります。

いく所存です。最後になりましたが、常磐会におかれましては、日頃より本校教育にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。今後とも、引き続きご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

令和3年度 私立大学合格者数（既卒生を含む）

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
福岡大学	38	中村学園大学	4	明治大学	1
九州産業大学	43	筑紫女学園大学	4	明治学院大学	1
福岡工業大学	29	崇城大学	4	別府大学	1
西日本工業大学	17	名古屋外国語大学	3	福岡国際福祉医療大学	1
西南学院大学	13	青山学院大学	3	南九州大学	1
西南女学院大学	12	神奈川大学	3	東洋大学	1
近畿大学	11	産業医科学部	3	東京農業大学	1
九州国際大学	8	久留米大学	3	東京国際大学	1
梅光学院大学	7	岡山理科大学	3	東海大学	1
九州女子大学	6	九州保健福祉大学	2	長崎外国語大学	1
九州栄養福祉大学	6	安田女子大学	2	中京大学	1
純真学園大学	6	亜細亜大学	2	中央大学	1
九州共立大学	5	愛知学院大学	1	早稲田大学	1
関西学院大学	5	獨協大学	1	神戸薬科大学	1
立命館大学	4	龍谷大学	1	関西外国語大学	1
同志社大学	4	立命館アジア太平洋大学	1	その他	2

上級学校合格状況・就職状況

令和3年度	現役	既卒	合計	
国立大学	47	2	49	
公立大学	51	4	55	
私立大学	252	19	271	
文科省管轄外	6	0	6	
公立短大	2	0	2	
私立短大	1	0	1	
各種学校	28	0	28	
事務	営業	技能	公務員	合計
0	0	0	2	2



部活動活動状況

全日制 令和4年5月9日現在

文化部	男子	女子	計
1 演劇	0	0	0
2 華道	0	3	3
3 琴曲	0	6	6
4 コーラス	0	3	3
5 茶道	0	6	6
6 写真	9	15	24
7 囲碁・将棋	9	0	9
8 書道	1	7	8
9 放送	3	7	10
10 煎茶	0	1	1
11 文芸	2	7	9
12 美術	2	7	9
13 吹奏楽	7	31	38
14 料理	0	30	30
15 英語 (ESS)	0	4	4
16 SG	0	6	6
17 科学同好会	3	2	5

運動部	男子	女子	計
1 バレーボール	14	11	25
2 バスケットボール	25	24	49
3 野球	28	4	32
4 テニス	10	6	16
5 陸上	17	4	21
6 柔道	0	0	0
7 剣道	5	3	8
8 サッカー	23	2	25
9 バドミントン	23	26	49
10 バトン	0	16	16
10 ダンス	1	27	28
11 水泳	5	0	5
12 卓球	0	11	11
13 空手	1	2	3
14 レスリング同好会	0	0	0

	男子	女子	合計
部員数	188	271	459
生徒数	327	374	701
加入率 (%)	57.5	72.5	65.5

主な戦績 ※令和3年4月～令和4年3月までの期間での県大会以上

新型コロナウイルス感染症の影響で県大会以上が中止になった大会等も含まます

運動部

- バスケットボール部 ○福岡県高校バスケットボール選手権大会 県大会ベスト16 女子（北部ブロック4位）
 ○ウインターカップ福岡県予選 県大会出場 女子
 ○福岡県高校バスケットボール新人大会 県大会 女子（北部ブロック3位）
 感染症のため県大会中止
- 野球部 ○第148回九州地区高校野球福岡北部大会 県ベスト16
- 陸上部 ○福岡県高校陸上競技選手権大会 県大会24位 男子やり投げ1名（北部ブロック4位）
 県大会28位 女子砲丸投げ1名（北部ブロック7位）
- バドミントン部 ○福岡県高校バドミントン新人大会 県大会出場 男子団体（北部ブロック5位）
- 卓球部 ○福岡県高校卓球選手権大会 県大会出場 女子個人1名（北部ブロックベスト32）
 ○福岡県高校卓球新人大会 県大会出場 女子個人1名
 県大会出場 女子団体
- 水泳部 ◎福岡県高校水泳新人大会 九州大会 男子50m背泳ぎ1名（県予選2位）
 九州大会 男子100m背泳ぎ1名（県予選9位）
 感染症のため九州大会中止
- 空手部 ○福岡県高校空手道新人大会 県大会出場 女子個人形 1名（北部・筑豊ブロック5位）
 県大会出場 女子個人組手1名（北部・筑豊ブロック2位）

文化部

- 放送部 ○福岡県高校放送コンテスト大会 県大会出場 朗読部門 女子2名（北九州地区3位・入賞）
 ○福岡県高校総合文化祭放送コンテスト大会 県大会出場 朗読部門 女子1名（北九州地区入賞）
- 書道部 ○福岡県高校総合文化祭書道部門 秀作 女子1名
- 美術部 ○福岡県高校総合文化祭 美術・工芸部門 特選 女子1名
- 写真部 ○福岡県高校総合文化祭 写真部門 県大会 入選 女子2名
- 文芸部 ◎福岡県高校総合文化祭文芸コンクール 九州大会 詩部門 女子1名
 九州大会 短歌部門 女子1名

定時制職員一覧・近況報告

職名	氏名	担当教科
校長	執行和彦	
事務長	齋藤吉則	
教頭	新澤和幸	
教諭	大場康博	国語
常勤講師	中島幸宏	地歴
教諭	吉浦祐司	公民
教諭	竹下斎明	数学
常勤講師	内田絵理香	理科
常勤講師	大城惇平	保健体育
非常勤講師	二木浩子	芸術（書道）
教諭	峯野光善	外国語（英語）
非常勤講師	野島洋子	家庭
非常勤講師	小川瑞絵	情報
養護助教諭	寶田早苗	
主事	田部敦也	

定時制近況報告

はじめに、令和三年度の生徒の進路状況をご紹介します。令和三年度は、四年修了生の十名が卒業しました。十名のうち、在学中の仕事を継続している生徒もいますが、卒業後の進路は就職が九名、進学が一名でした。つぎに、令和三年度の主な活動をご紹介します。

九月に行われた生活体験発表北九州地区大会に、本校から二年生二名が出場しました。二名ともに、これまでの自身の経験をふまえて発表し、奨励賞を受賞しました。

部活動のうち、文化部関係では、北九州芸術祭総合美術展書道部門において、三年生十名が入賞し、二名が特選、八名が入選となりました。また、行橋市人権啓発作品（書道の部）において、二年生二名が入賞し、一名が優秀賞、一名が入選となりました。さらに、福岡県高等学校書道教育研究会主催授業作品展では、三年生三名が優秀賞を受賞しました。体育部関係は、大会には出場しませんが、放課後の限られた活動時間を有効に使って技術を高めています。

本年度は、新入生十六名を迎え、全校生徒五十六名でスタートしています。生徒たちは、日々仕事に勉学に全力で励んでいます。



「思い出すままに」

42回生 3年1組担任

村上 博彦先生

42回生の皆さん、こんにちは。本当にお久しぶりです。皆さんが卒業してから32年の歳月が流れたのですね。総会誌の原稿の依頼を受け、皆さんと過ごした日々を懐かしく思い出しています。

思い出の一番は、文化祭の映画撮影ですね。学校のすぐ裏の路上でロケが行われ、私は気弱な教員役をさせられました。真つ昼間に公衆の面前でロケなどというのはいささか抵抗がありました。クラスのために私も少しだけ頑張りました。



私の役は、チンピラに囲まれた女子高生を助けようとするが、チンピラから凄まれてすぐに佐藤君（若くてかっこいい先生役）の陰に隠れてしまう、という情けない役でした。だれが脚本を書いたのか未だに知らない私ですが、恨んでいます（ハ、ハ、ハ、…）。

しかし、私にはよく似合う役でした。映画作りに懸命だったあの頃の君たちは、青春の真つ只中にいましたね。

三年生の一月、いよいよセンター試験が始まりました。私たち三年生の担任は進谷先生を先頭にみんなで受験会場まで応援に出かけました。最初の試験が終わると、受験会場から出てきた君たちに「済んだ科目の

ことは忘れろ」「結果について友達と話すな」と檄を飛ばしました。君たちは覚えているかな？

一次試験が終わってからは二次試験に向けての猛勉強。ところが、学校を休む人が続出しました。私は休んだ君たちを廊下に並べせ、一人ひとりにピンタを張り、言いました。「いいか、二次試験が怖いのはみんな同じだ。家にいたって元気がでるか？友達に電話して『どうしてるか？』と話しているんだろが、そんなことは学校に来て話せ。君たちの人生で、今初めて自分が試されるんだ！しっかりしろ。」と説教をしました。

あの時、君たちは初めて入試というものの怖さを知ったのです。自分が真剣に己のすべてを賭けて戦わなければならぬことを知り、その怖さを突き付けられたのでしょうか。人生には何度かそういう場面があります。そういう意味では受験というものは若者にとって、良い経験になるのかも知れません。

やがて、合格発表の時がやってきました。週刊誌に全国の有名大学合格者一覧が掲載され、京都高校の名前を見つけ、皆んなで歓声を挙げました。不合格の仲間には気の毒です

が…。

こうして、長い長い入試との戦いが終わりました。

私は来年傘寿を迎えます。戦時中に生まれた私が、こんな歳になって、まさか戦争のニュースを日々見聞きさせられようとは。「教え子を再び戦場に送るな！」をスローガンに掲げて私は仲間たちと教員生活を送ってきました。今は「孫たちを絶対に戦争に送らないぞ！」の思いで、ささやかな活動をしています。

皆さんのご健勝とご活躍、常磐会総会のご成功を祈念いたしますとともに、世界の平和を祈りつつペンを置きます。



「42回生のみなさんへ」

42回生 3年3組担任

辻畑 覺先生

福岡県立京都高等学校同窓会常磐会総会が開催されることをお慶び申し上げます。コロナウイルス感染防止のため多くのイベントが延期や中止になる中で、常磐会総会を開催に導いた幹事をはじめ関係者の御苦労に、心から感謝申し上げます。

私は、73歳になりました。高校42回生の卒業アルバムを見ると、そこには42歳の若い私があります。あれから30余年経ち、年を取ったことを改めて実感させられます。

また、多くの諸先輩の先生が亡くなっていることを思うと寂しい限りです。



平成二年は、3月に母を亡くし11月に父を亡くしましたので、私には忘れることが出来ない年です。

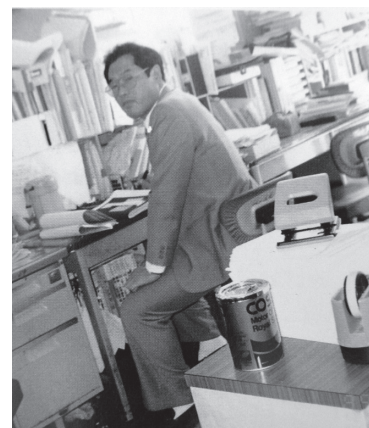
京都高校での生活で一番に思い出すのは、職員間の雰囲気がよくて、毎日、学校へ行くのが楽しかったという事です。アルバムからも教員がみんな、生徒の指導にあたっていることがわかります。

朝・放課後にも課外があり、宿題も多く課されました。土曜日の午後には定例テストを行い、厳しい指導を行っていましたので、生徒諸君にとっては、辛く苦しかったことでしょう。当時の厳しい指導は、今では考えられないことです。今なら私は、SNSでやり玉に挙げられたのではないかと思います。

頑張れば出来る。出来ないのは、意欲と努力が不足しているからだ。と思つて皆さんと接してきましたが、皆さんは、よく頑張つたと思います。

特に、部活動生徒の勉強との両立は大変だったと思います。五木寛之氏の本で、これだと思ふことがありましたので紹介します。

『失敗や絶望感は、「頑張れ」の励ましで立ち直れることもあるが、当事者でないとならない絶望感や



喪失感を持った人への「頑張れ」の言葉は、更に苦しめることになる。

そのときは、黙って横に座り、深いため息をついて相手に共感していることを伝えることだ。』とありました。確かに、悲しいときには、さびしい音楽や静かな雰囲気のほうが心が休まる気がします。

残りの人生、自分にも人にも、「頑張れ」だけではなく、温かく見守る寛容の心を持つて過ごすことが大切なんだと思つています。

私は、今、高血圧の薬を飲んでいますが、体内年齢は60歳未満です。こぶる元気です。全面禁煙したいと思つていますが、これが中々出来ません。この原稿もタバコを燻らしながら書いています。

アタマだけでなく、自分の感覚を大切にしながら、毎日を、感謝、感謝でこれからの人生を過ごしていこ

うと思つています。

どこかで見つけたときは声をかけて下さい。すぐには思い出せないかもしれませんが、話せば分かると思います。

最後になりましたが、福岡県立京都高等学校のますますの発展と、卒業生、42回生皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

「共に人生を歩む皆さんへ」

42回生 3年4組担任

大澤 禎司先生

高校四十二回生の同窓会で再会してから六年が経ちました。

「皆さん、お元気ですか？」六年前の同窓会の会場で席に座っている立派な大人になった皆さんの懐かしい顔と行動を重ね合わせていました。

一人一人の顔に人生を歩んできた思いが幾重にも重なって見えました。人の成長する姿を見ると、時の流れを感じます。

現在私は、六十六歳になりました。私の近況をお話しします。

退職前に吹奏楽部の顧問をしてから始めたサックスが趣味になり、大



学の先生から月に二回サックスのレッスンを受けています。サックスを専攻している大学生と同じテキストを使い基礎基本を習い、今は曲の演奏の仕方を習っています。演奏したい曲が沢山あるので、パソコンで楽譜作りをしています。年を取って認知症のことも心配になり、三年前から認知症の予防になればと思いいアノを習い始めました。

自分の部屋に電子ピアノを置き、一階の防音室には300キロぐらいあるピアノを置いています。ピアノを弾きながら左右の手を使うと脳が頑張つて右手と左手の意識と感覚を何とか調整しています。確かに脳のトレーニングにはなっているようです。楽器は、本当に不思議な生き物のようです！

コロナウイルスの感染が収まってくれば又海外に行こうと思ひ、昨年韓国語を習い始めました。韓国人の先生と韓国語で話すのも楽しいものです。映画も韓国映画を見て、単語と表現を覚えるようにしています。少し捗ってきたら、次は中国語を習う予定です。

人生を歩んできて、考えました。上手く行くことと上手く行かないことが表裏一体であり、この表裏一体

のバランスを保つためには人生の試練を受け入れる勇氣が必要だと思ひました。人生から毎日試練の縦糸と横糸が与えられ、その与えられた糸の意味が見いだせないことがよくあります。なぜこの糸が与えられるのかと悩むこともあります。しかし縦糸と横糸を織り上げていくと、いつしか人生の大きな絨毯に色鮮やかな絵や模様が浮かび上がってきます。人生の試練に裏打ちされた歩みが見えてきます。

自分が織り上げた絨毯に人生の彩りが現れます。その彩りを見ると一本一本の糸に込められた意味も分かってくる。必要があるから与えられる糸。無駄な糸はありません。ありのままを見て、あるがままに人生を歩もうと思ひます。

常磐会総会の準備や調整でお疲れ様でした。皆さんたちが、人生の彩りを沢山学んでこられますように祈念致します。



「つれづれなるままに」

42回生 書道部 顧問

棚田 規生（看山）先生



京都高校第42回生の皆さん、本年度の常磐会当番回生ご苦労様です。君達の卒業は平成2年でしたね。あれから30数年の春秋が過ぎ去ったわけです。私も今年、後期高齢者の仲間入りをしました。京都高校には平成4年3月まで10年間お世話になりました。私の教員生活のうち最も楽しく充実した時間でした。

その後、母校豊津高校7年、北九州高校8年で定年退職。同校再任用1年。そして行橋市歴史資料館学芸員として6年間勤務しました。資料館には市民学芸員の会が数年前発足していましたので、すぐにその仲間入りをしました。この会はボランティアアガイドの会です。

地元行橋市及びみやこ町、苅田町等の文化遺産、史跡等々の学習を兼ねガイドを行っています。特にこの地域は県下でも有数の古墳の多い場所、円墳、方墳、前方後円墳の様な様々な形の古墳があります。また、瀬戸内海に面した風光明媚な場所、海からよく見える高台に古墳が作られており、畿内との交流の深さを感じさせられます。

資料館には、発掘された土器、石器、武具などが収蔵されています。また近世の行橋は商業の街として発達し、日本の豪商百人に数えられる飴屋（玉江家）等の什器も多数、収蔵されています。

また、幕末から明治初期に活躍した村上仏山（漢学者）関係の書籍もたくさん見ることが出来ます。

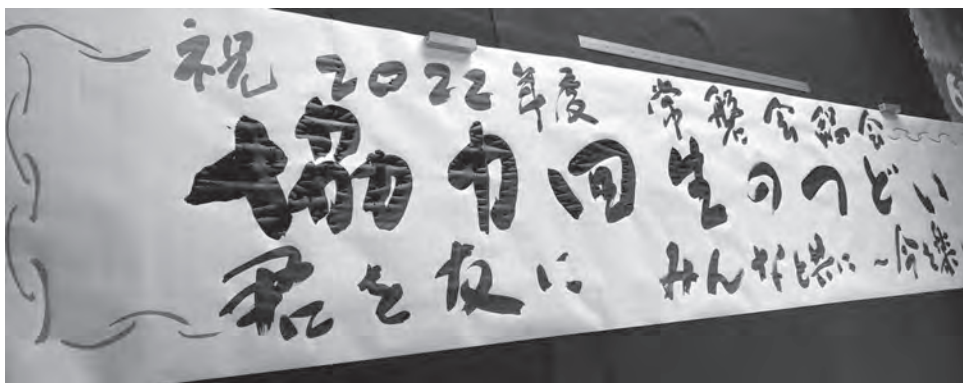
このような地元の歴史を肌で感じることが出来る文物が身近にあることは本当に幸せと実感しています。

また地元はもとより近隣の歴史愛好家等の団体が訪れる際は交流会も行っています。

ガイドは難しい言葉を並べても聞く人にとってはつらいものです。ですから平易な言葉で説明し、時にはギャグも混ぜながら、とっておきの秘話なども加え、印象深いものにしていくことも大切なことだと思います。

私の専門は書道ですから講演会、展示会などの演題、横断幕、看板などを書いています。

また、小学校、専門学校の卒業証書も引き受けています。このようにまだまだ君達に負けないように頑張りますので、今後ともよろしくお願ひします。



「京都高校での思い出」

55 回生 3 年 9 組担任

大江 史彦先生

卒業生のみなさん、お元気ですか。京都高校での経験を活かしながら私も頑張っています。

当時いろんな思い出をみなさんと作れたことを懐かしくありがたく思っています。放課後も冬場は暗くなるまで一緒に勉強したことは、自分の誇りとさえ思えます。

部活動では顧問として厳しいことも言いながら、「あのときの声かけはもつとこうすればよかった」などと反省の多い日々でしたが、それでも熱心に練習に励んでいたみなさんの姿に感動し、自分も刺激をもらっ



たことが多かったです。そのとき、スポーツについて言えばオリンピックで活躍することもすごいですが、部活の中で頑張る姿が人に感動を与えてくれる、自分の身近な人が前向きに取り組む姿が輝いて見えると強く思いました。

今の世の中では失敗がゆるされる、批判されることが多く、私のような人間には生きづらさを感じることも多いのですが、今も目の前の生徒たちは日々奮闘しながら成長を遂げていて多くの感動を与えてくれます。失敗したときにどう改善していくか、多様な考えをどう受け入れていくか、を自分自身生徒と学ぶ日々を送っています。

どうか世の中に出ておられる先輩の皆様にも子どもたちに暖かい目を向けていただき、一緒に育てて頂ければありがたいです。

またお会いできたら高校で共有させていただいた思い出を是非語り合いたしましょう。そのときを楽しみにしています。

も日々子どもたちに向き合って行きたいと思えます。

このような場面を作っていたいただいた同窓会当番回生の皆さん、本当にありがとうございました。

「思い出のみやこ」

67 回生 3 年 1 組担任

平田 安代先生

高校 67 回生のみなさん、お久しぶりです。英語科の平田です。3 年 1 組の担任をしていました。

みなさんは、私に初心を思い出させてくれる大切な生徒たちです。12 年前の当時は、1 学年 8 クラスで、学年の先生方に支えられ、本当に充実した 3 年間を過ごすことができました。

「京都高校」では、体育大会や文化祭でみやこの伝統を感じることができ、「スーパーグローバルハイスクール」として準備を進めていく過程も少しだけ知ることができ、革新的なことに挑戦していく学校だと実感していました。みやこは、生徒達が非常に素直で、情熱あふれる先生方のサポートの下で、自分の夢に向かって可能性を伸ばすことができ

る、素晴らしい環境です。

特に、思い出深いことは、文化祭での 3 年生の合唱コンクールです。1 組は、アンジェラ・アキさんの「サクラ色」を選曲しました。私の大好きな歌を選んでくれたことも嬉しかったのですが、受験勉強もあるけれど、一生懸命練習する生徒の姿を見てみると、卒業まで全力でサポートしようという心で誓っていました。残念ながら、優勝することはできませんでしたが、行事を通してクラスが団結し、支え合うことができた瞬間でした。1 組はコンクール本番に悔しい思いをしたので、再び教室で歌ってくれて、「ふるさと」心の中で今でも優しく響くよそんな歌が聴こえる」という一節に、京都高校での思い出が頭の中に浮かびました。何事にも全力で、感謝の気持ちを忘れない生徒達に出会うことができたことは、私にとっての宝です。

私は 4 年前から北九州市にある北筑高校に勤務しています。校歌の一節に「青春の血はたぎりにたぎる」とあり、文武両道を目指し、元氣あふれる生徒に囲まれています。両手を後ろに組み、背中をそらしながら校歌を熱唱する姿は、北筑高校の伝統で、卒業式でもそのスタイルで、





「笑いと感動で」

67回生 3年6組担任

田中 久美子先生

67回生のみなさん、お久しぶりです。お元気ですか？皆さんがドキドキしながら迎えたであろう入学式は、私もドキドキしていました。あれから何年経つのでしょうか。今は動悸を感じます。皆さんのことは、アルバムや校友会誌をめくると、不思議と細かな思い出がよみがえります。

1年：文化祭企画の「階段アクト」。最初は校長先生をモデルに、という案でしたが、切ったうえ、階段なので踏むことになるのはどうかとなりました。その結果が「じゃあ、田中先生でよくない?」。どこに納得する点があるのか疑問でしたが、クラス全員が楽しく一つにまとまっているのなら、私は切られてバラバラになっても構いません。

「掃除箱を開けたら、また掃除箱がある状況」と私の間違いを、ジェスチャー付きで詳しく解説してくれました。鋭いですねえ。みんな笑っていましたねえ。

3年：合唱コンクールや芸術鑑賞「CATS」などの感動についても、もちろんたくさんあります。ありますが、ずっと3・6の皆さんに質問できなかったことが忘れられない思い出として2つあります。その1：「体育大会の日の黒板」。3年の時の体育大会が、京都高校でクラス全員が同じブロックに所属して演技をする最後の年でした。赤ブロックとして全員で練習に取組み、当日を迎えました。黒板にもその思いが表れていました。が、メドゥーサみたいな図と私の名前を並べていたのはなぜですか？見た瞬間、固まりました。

2年：「まじめトーンの注意に対する注意力」。朝読書をせず、ウロウロする数人の姿を発見し、「どこまで席を立つてるのっつ!」自分の席に戻ろうとしながらつぶやくF君。「どこまで」ということは、ここまででないけれど、ここからはダメってこと?」：鋭いですねえ。みんな笑っていましたねえ。掃除の仕方が甘くなっていたので、「掃除箱入れも徹底して掃除!」というのと、「掃除箱を開けたら、また掃除箱がある状況」と私の間違いを、ジェスチャー付きで詳しく解説してくれました。鋭いですねえ。みんな笑っていましたねえ。

3年生担任の先生に色紙を贈ろう、となっていたのでしょうか、3年担任はそれぞれのクラスの色紙を(ほぼ)全職員の前で受け取りました。隣の高井先生や黄原先生が手に



した色紙は、感謝が溢れていました。私の受け取った色紙には、またもやメドゥーサ。再び固まりました。皆さんと過ごした3年間は、笑いと感動で溢れていました。そして、私を大きく成長させてくれました。ありがとうございます。

京都高校で勤務した4年間で学び、出会った生徒達のおかげで、現在の自分があり、もっと自分を成長させ、新しい自分を見てみたいと考えるようになりました。高校67回生のみなさんは、どのような経験をし、社会人として活躍しているのか、同窓会などで話を聞かせてください。楽しみにしています!

京都高校で勤務した4年間で学び、出会った生徒達のおかげで、現在の自分があり、もっと自分を成長させ、新しい自分を見てみたいと考えるようになりました。高校67回生のみなさんは、どのような経験をし、社会人として活躍しているのか、同窓会などで話を聞かせてください。楽しみにしています!

2年：「まじめトーンの注意に対する注意力」。朝読書をせず、ウロウロする数人の姿を発見し、「どこまで席を立つてるのっつ!」自分の席に戻ろうとしながらつぶやくF君。「どこまで」ということは、ここまででないけれど、ここからはダメってこと?」：鋭いですねえ。みんな笑っていましたねえ。

3年：「卒業式の日の色紙」。3年生担任の先生に色紙を贈ろう、となっていたのでしょうか、3年担任はそれぞれのクラスの色紙を(ほぼ)全職員の前で受け取りました。隣の高井先生や黄原先生が手に

令和が始まり、SOCIETY 5.0という新しい時代を迎えました。でも、皆さんなら大丈夫です。柔軟な発想力で、問題解決の糸口を見つけてみましょう。豊かな人間力で、他人を尊重しながら、自分らしさと向き合った選択をして、物事を決定することができるとしよう。皆さんの人生が、笑いと感動で溢れることを願っています。

卒業生からの
おたより

「津田梅子船出から
百五十年その先は」

高女30回生 品川 洋子

先に、京都高校創立百周年を盛大に祝い、新たに力強く校史を重ねていますこと、同窓生としてお慶び申し上げます。

先ごろ、新紙幣の肖像として、津田梅子が五千円札にと発表されました。明治以降の文化人で、国民に広く知られ、世界に誇れる人としてです。

津田梅子が日本人初の女子留学生として太平洋を渡ったのが、一八七一（明治四）年、満六歳でした。帰国後、津田塾大学の前身とな



る女子英学塾を創立し、女性の高等教育と自立のために尽力しました。

津田梅子の船出から現在は、ほぼ百五十年です。その半分のころ、昭和の戦争終結がありました。

百五十年の前半七十五年は、明治以来の政治、文化で、男性優位の教育体系でした。大正二年に東北帝大に女性三人が入学、卒業したのが特記されることでした。

百五十年の後半七十五年は、教育改革により男女平等になり、女性に大学の門が開かれました。

私は、前半の七十五年の最後と、後半七十五年の始めにここにいたこととなります。京都高女三十回生として卒業した後、新学制の大学に入りました。はじめての女性の入学、はじめての男女共学です。

◇ 略 歴 ◇

東京生（一九三二年）、疎開で京都へ
京都高等女学校卒業（一九四八年）
福岡教育大学中学校課程社会科卒
九州産業大学大学院修士
北九州市立中学校校長定年退職後
福岡教育大学他二大学で講師、
九州女子大学文学部教授、
北九州森鷗外記念会会長等を歴任
平成九年度から令和元年度まで、
常磐会副会長として、会に貢献

女性は少数で、卒業時、一期学生中六・五で、私はその一人でした。

卒業して中学校の社会科教師、三十代で教頭職、四十代で校長職に就きました。気づいてみれば、周囲はほとんど男性で、私はその中に入っていた。でも、男女共学一期生、なすべきことをするだけと思っていました。

それから平成が進み、令和の時代になり、女性が学校の主要な役職に就くことが多くなってきました。しかし、その数は、教職の女性数からの比率、また学校数からの比率などからは、まだまだ低い状態です。

次の七十五年は、もう始まって

ます。基本の法や制度は整っていますので、どれだけ細部にまで中身を濃くするかということになります。津田梅子は女子高等教育や女性の自立を推しすすめました。しかし、実は男性、女性に関わらず、知性と強い意志を備え、自分で思考し、国際社会を含め、広い社会に貢献する人を育てることでした。

津田塾大学は、建学の精神、その後の実績で厚い信頼を得ています。私のところに卒業生が進路の報告に来て、「津田です」と言うと、こちらの背筋が伸びる気がします。

ここで、広く社会を見ますと、日常的と思われるほど、SDGs（持続可能な開発目標）や、世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数が報道されています。

昨今、国際社会の問題も深刻になつてきています。世界はいつも動いています。広量、成熟など大事なものは身近なところからでも大切にしたいものです。

京都高校同窓会は「君を友に みんなと共に く今を楽しく」を掲げています。今後も充実発展されま

すように願っています。



「再び、 京都の地に立つ」

高校42回生

1組 新澤 和幸

令和4年6月4日、33年ぶりに京都高校の体育大会を見ました。新型コロナウイルス感染症の影響のため体育大会が実施されるのは実に3年ぶりということで、生徒たちは3年分の思いをすべて出し切ろうとしているのか、見ている側に生徒の情熱がストリートに伝わってくる素晴らしい体育大会でした。

私が京都高校を卒業して33年、教員として今年度から母校で勤務することになりました。生徒として参加した体育大会は、みやこ体操の練習など数多くの良い思い出が残っておりますが、教員として生徒の頑張りを見られたこともとても良いものでした。

私はこれまで主に行橋市近隣の学校に勤めていたため、様々な仕事の折に恩師とお会いする機会がありました。しかし母校を訪ねる機会は思った以上に少なく、今年度久しぶりに来た母校は、図書館や食堂など私が高校生のときには無かった新し

い建物がありますが、校舎は当時のままであり、懐かしさを感じさせてくれました。

4月当初、母校に赴任したばかりの頃、施設確認のため校内を巡回していると、高校生当時の様々な場面を思い出しました。教室、廊下、階段を見るたびに、時とともに薄れていたその場所での過去の記憶がどんどん湧き出て、自分自身が驚かされました。それは、思い出は自分の記憶の中にあるのではなく、その場所に宿っているのではないかと思ってしまうほどでした。

友人と教室で文化祭の準備をした



こと、友人とクラスマッチの作戦会議をしたこと、友人と一緒に廊下で先生に叱られたこと、友人と階段で将来の夢などを語り合ったこと、将棋部で先輩や後輩と将棋を指したこと。やはり友人と過ごした時間は一生の思い出、宝物なのですね。

若い頃、私は自分の目の前で精いっぱいだったこともあり、母校を意識することはあまりありませんでした。しかし、これまで公私に渡り私の見えないところで先輩が支えてくださっていたり、後輩と関わっていることに気づかされ、年齢を重ねるにつれ母校のありがたみを強く感じるようになりました。さらにこの度、当番期となり、高校生のときは話したことがない同級生と話をする機会にも恵まれました。母校を中心に多くの人と繋がる。母校には不思議な力があるものだと思えて思いました。

今は新型コロナウイルス感染拡大防止のため難しいですが、いつか皆さんも学校行事等の折に母校に立ち寄り、母校の力を再確認してみても良いものではないでしょうか。



「命と死の狭間で」

高校42回生

1組 浜内 諭

こんにちは。皆さんと紙面ではありますが、再会できる機会が与えられたことを心から感謝します。

私は京都高校卒業後、九大工学部に入学し、環境ビジネスがやりたくて新宿に本社のある水処理メーカーに入職しました。最初の赴任地は大阪で、コンビニートへの営業を担当しましたが、仕事は大変忙しく、朝から深夜まで働く生活でした。ただ、会社に対しては待遇面も含めてとても満足しており、生涯勤めるべき会社とその時は本気で思っていました。

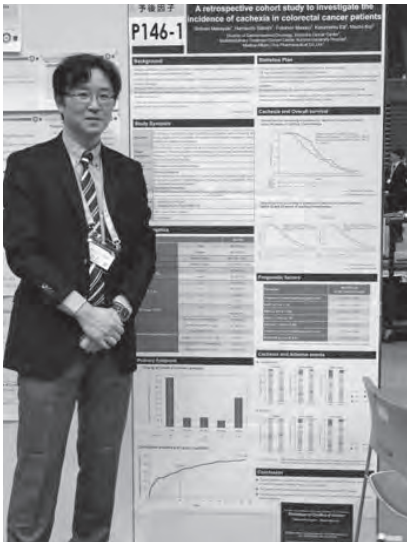
次第に仕事を覚えていき、営業成績も上がり、仕事が面白くなってきた3年目の夏頃でしたが、次第に心の奥底でもやもやする思いが生じてきました。なぜだろう？と考えていたときにわかったのは、自分がこのまま一会社人として一生を全うすべきなのかどうかということに不安を感じているということでした。前述のように優れた企業でした（現在も）ので、安定性、将来性のことを

言っているのではありません。何か理解しがたいもやもやをその都度打ち消しながら仕事に携わっていきましたが、さらに渴きは強くなり、ついには打ち消すことができなくなり、別の道を選択することを決意したのです。では何を選ぶのか？仕事の中で主に化学薬品と産業機器を扱っていた私の中で導き出されたのは、やっぱり自分は人間に直接関われる仕事がしたいという思いであり、真っ先に思いついたのは医師という職業でした。でもすでに高校を卒業して7年が経過しており、さらに現役時よりも成績が良くなければ合格は厳しいという現実と、経済的にも1年間で合格できなければ、断念せざるを得ないというプレッシャーが大きな不安要因でした。

わからないし、1度限りの人生だろう？という心の声もあり、背水の陣で仕事を辞めて医学部目指すことを決断しました。その後は予備校に行かずに1年間実家でひたすら勉強し、模試を受けながら自分の立ち位置を客観的に見るようにしました。努力の甲斐があつてか次第に手応えを感じるようになり、1年後に鹿児島大学医学部へ合格することができたのです。この時26歳でした。そこから苦しみながら6年間勉強に励み、国家試験に合格して晴れて医師免許を取得できたのが32歳の時でした。卒業後は5年間、総合病院で内科研修を受け、6年目で38歳の時に現在の静岡県立静岡がんセンターに入職することになりました。

がんセンターでは基本的に癌患者しか診ません。日本では国民の半数が生涯のどこかの時点でがんに罹患することが示されていることから、患者さんは多く、毎日のように病院は大変な混雑ぶりです。私もこれまで多くの治らない癌患者さんを診療し、そして何百人もの患者さんを看取ってきました。まさに死と隣り合わせの仕事と言ってもいいかもしれません。死は社会的立場が高い方にも、そうでない方にも平等に襲ってきます。元気なときには天と地ほどの差があるかと思われる人生も、各人に平等に死の前立に立ったときに、大体同じような反応を示されることをこれまで見てきました。つまり、本人だけでなく家族までもが死の直前まで死から目をそらすとするのです。

そのような過酷な環境の中で、今でも印象に残るひとりの患者さんを御紹介したいと思います。その方は30代という若さで胃癌を発症したSさんでした。初めて彼女にお会いしたとき、すでに全身に転移しており、余命幾ばくもない状態でした。その時の彼女の打ちひしがれた表情は今でもよく覚えています。彼女は「元気な時には考えないようなことを考えるようになりました。」と言っておられました。



「京都高校 同窓会にあたり」

高校42回生

4組 小島 康幸

ある日のことです。病棟回診時に訪室し、いつもどおり病状をお聞きし、出て行こうとした時に突然言われたのです。「先生、死んだら私はどこに行くの?」

いきなり後頭部を殴られたような衝撃でした。一瞬戸惑いましたが、私は医師以前にクリスチャンです。そこから勇気を出して医学は本質的に死の解決はできないことを伝え、そこから彼女と深い対話へと入っていきました。

詳細は紙面の都合上省略させていただきますが、そこで私たちは小さな奇跡を経験したのです。

死から目をそらすこと、それが通常の反応なのだと思います。我々の「常識」にもなっているかもしれませんが、しかしSさんの問いかけは人間として本質的なものであり、彼女こそまさに人生の勝利者だったんだと今でも思い返すのです。

私たちがもすでに人生の折り返し地点を優に過ぎてしまいましたね(笑)。だからこそ、人間としての本来考えるべきことを考えるステージにすでに来ているのではと思うのです。少しでもこの文書が皆さんの目に留まれば幸いです。

この度、2022年度京都高校同窓会にあたり、高校時代の思い出の

作文を依頼され、昔を思い出しながら懐かしく思っているところです。

部活や学習、登下校での出来事、仲間とつるんで遊んだ出来事など。人生でとても大切な3年間。

喜んだり・楽しんだり・悩んだり・悲しんだり・とても忙しい3年間であったと振り返ります。

一方、現在に目をやると時代は流れ、令和となり新型コロナウイルスの感染拡大、ロシアによるウクライナ侵攻など数年前には思いもしなかったことが次々に起きると共に、

テレワークなどIT技術の技術革新が急激に加速、コミュニケーションの取り方・働き方や嗜好性の変化など世の中の変化の速さに驚きを隠せません。

ちょうど我々が青春を過ごした京都高校時代も昭和から平成への転換期であったのだなと感じるところです。



昭和、平成、令和と時代により考え方も価値観も変化してきましたが、我が母校、京都高校では「不変の真理」に重きを置いた人財育成・人財教育を切に望むところです。

平成2年に卒業してから後、鹿児島で生活。早いもので32年が経過しました。福岡へは盆・正月に帰省する形ですが、近年の新型コロナウイルス感染症対策のためそれも断念しています。学生時代に焼酎大国といわれる鹿児島焼酎・焼酎文化と

運命的に出会い、酒類業界に就職、生産関係に携わり現在に至っています。

当社濱田酒造は、明治元年創業。「本格焼酎を真の國酒へ、更には世界に冠たる酒へ」という大きな夢を胸に、次の時代へ挑戦を続けています。

多様化する時代に決してやさしい道ではありませんが、京都高校校訓「英知、創造、敬愛」を持って取り組んでまいります。



「近況報告」

高校42回生

8組 中村 健治

私は愛媛県産業技術研究所という、公設の研究機関に在籍しています。まず、これまでに開発した技術を2つご紹介します。

ひとつめは、洗濯で徐々に色が変わる刺繍（写真1）です。愛媛県今治市はタオルの産地です。「今治タオル」という名称をご存じでしょうか？タオルは洗濯するにつれて硬くなるため、色の変化を交換時期の目安にしようと考えました。数字は洗濯回数です。色の変化がわかりますか？

ふたつめは、蓄光タイルの開発です（写真2）。夜間に光る蓄光粒子は、標識への応用が注目されています。また、愛媛県砥部町は「砥部焼」という陶磁器の産地です。この陶磁器の製造技術を応用し、蓄光粒子をタイルに固定する新手法を開発しました。

サイズの大きな蓄光粒子を使い、従来品よりも明るくしました。この際に、蓄光粒子を塗料化（分散）する必要がありますが、サイズが大き



く、すぐ沈むため、分散状態を保つのに苦心しました。

このように、アカデミックな研究よりも「目で見てわかる発明」を目指しています。

高校生から現在までについても簡単に話します。

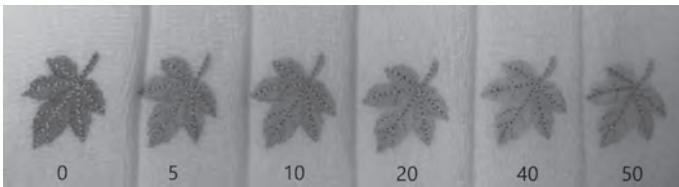
当時の京都高校は、成績に応じたクラス分けでした。私は学業不振のため、2年生から3年生に進級する際に、より習熟度の低いクラスに変えられました。このように、高校生は順調ではありませんでした。また、大学入学までに2年も浪人しました。

ただ、理科系にとって大切なことはテストの得点ではなく、好奇心や発想力だと思います。未知の技術は教科書に書いていませんから。単なる負け惜しみ？

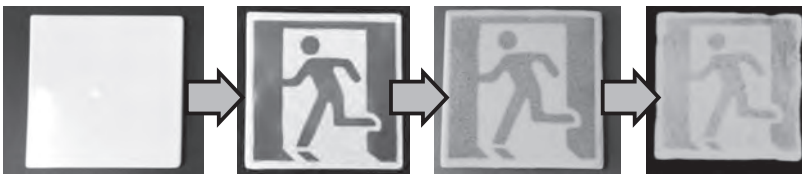
その後、大学院を修了するとき愛媛県で研究開発職の募集があり、応募して現在に至ります。

いつか、私の発明品を皆さんが目にするかもしれませんね。その日を夢見て頑張ります。

最後に、この度は寄稿の機会を与えていただき、ありがとうございます。感謝いたします。



(写真1) 洗濯するにつれて色が変わる刺繍



(写真2) 蓄光タイルの開発 図柄の形成 蓄光層の形成 夜間に光る



「京都生フリッ普芸で 結婚の挨拶をする」

高校55回生

1組 吉留 雄介

2022年度常磐会総会の開催、総会誌の発行おめでとうございます。本来であれば当番回生55回生として実行委員の活動に参加すべきところ現在遠方にいるため地元と同級生達にばかり55回生の活動をお願いすることにになり大変申し訳なく、そして大変感謝しております。

また、先輩方をはじめ実行委員のみなさまにはコロナ禍での久しぶりのフル開催ということで例年以上に気苦労も多い中ご尽力いただき、さらに御礼申し上げます。

さて、仕事に子育てに忙しい生活の中、なかなか高校生活を思い返す機会もないので、今回はせっかくな



ので私達の京都高校での3年間を思い返してみようと思います。

入学直後、英彦山への登山体験がありました。新しい友人達との思い出作りを成功させようと直前に意気込んで床屋に行ったはいいものの、髪は短くしたい、でも格好良くなりたいたいという思いから「はさみだけで坊主頭に近づけて欲しい」というよくわからないリクエストをしてしまいいよくわからない髪型で写真に写った姿を思い出します。

その後、1年生伝統の京都体操を披露した体育大会がありました。それ以外の体操姿勢はほとんど覚えていないのですが、不思議なもので手と腕と足をピンツと伸ばすあの姿勢だけは今でもはつきり覚えていました。京都高校の体育大会は6月開催、当時は格好良いと感じられないよくわからない体操に、非常に厳しい教師からの指導に、体操への取り組みに恥ずかしさを感じることもありましたが、新しい友人達と共通の話題ができ、それでいて規律と協調性を学ぶことのできるこの伝統行事は是非今後も継続していただきたいと今でこそそう思えます。

その後、今にすると長い人生の中たった3年間の高校生活、されど当

時にするととても長く感じた3年間が続くのですが、今回の寄稿文の文字数制限内ではどうやら語り尽くせないようですので、私や友人、先生方の当時の面白エピソードや色恋沙汰なんかはまたいつか同窓会で直接語り合うことができたらと考えています。

私は、高校卒業後大学、法科大学院へと進学し司法試験受験時まで勉強を続けました。試験自体は生憎の結果となってしまいましたが、縁あつて某ホテルに就職し、国内国外へと営業に回り今は総支配人として各部署を統括する仕事をしていきます。全員で一つの方向に向かい、各部署自分の仕事を全うし、連携を取りながらお客様に非日常の空間と休息をプロデュースします。私の高校生活の中心だった生徒会活動が、今の職を天職に感じさせます。

ただ時折、生徒会活動や数学など偏った活動や勉強に嵌まっていた自分を思い返しては、何故もつと英語の勉強に励まなかったのかと、何故自分の人生に英語は関係がないと思いついていたのかと反省しています。当時の私は、まさか自分が外国に出張に行くことになるなんて、まして国際結婚することになるなんて

思ってもいなかったのです。もし耳を傾けてくれる後輩がいるのなら、是非どの分野の勉強も大切にしてくださいと思います。

最後になりましたが京都高校並びに常磐会の益々の発展を祈り、結びの言葉とさせていただきます。



「京都に感謝！」

高校67回生

1組 嶋田 有理奈

この度、常磐会総会が盛大に開催されますこと、心からお祝い申し上げます。このような執筆の機会をいただき、大変光栄なことだと感じています。

この執筆にあたり、私が京都高校を卒業してから七年という年月が経っていることに改めて気付かされました。七年も経っているにも関わらず、京都高校で過ごした三年間のことは、まるで昨日のこのように鮮明に刻み込まれています。

私達は、平成二十四年四月に入学しました。入学後まもなく英彦山で二泊三日の宿泊体験学習があり、集団行動や京都体操を懸命に練習しました。体育大会で京都体操を披露した時の、あの歓声は今でも覚えています。私達は、一生懸命に取り組むことの大切さ、仲間がいることの有難さを学びました。そしてこの仲間と三年間過ごしたいと強く感じました。

高校生活を振り返ると、朝七時半過ぎから始まる0限朝課外、小テス



ト、一日一答、模試、授業、部活動、予習、復習、服装頭髪検査等……。あれほどに自己を管理されたことはないでしょう。しかし、大変だった思い出ばかりではありません。体育大会、文化祭、修学旅行の数々の学校行事だけでなく、休み時間でさえ、私たちは常に笑顔で楽しんでいました。今でも、あの時に戻りたくなるほど楽しい思い出が溢れています。このような学校生活が過ごせたのは、親身に相談に乗ってくださり、丁寧に勉強を教えてくださいました先生方や、共に困難に立ち向かい、切磋琢磨した仲間に出会えたからだと思います。私にとつて京都高校での出会いはかけがえのない大切なものになっています。

高校生活の数えきれない様々な出来事の中で、私の人生を変えたのが、バスケットボール部に入学したことです。入部のきっかけは、一年生大

会に出場するために、先生や友達から誘われたことです。私達は、毎日の練習の中で、バスケットボールの技術だけでなく、「いい選手である前にいい生徒であろう。いい生徒である前にいい人間であろう」という顧問の先生の教えのもと、仲間の大切さ、緊張を楽しむこと、自信のつけ方など多くの事を学びました。引退し、進路選択の時期、チームメイトであり親友のキャプテンが、高校卒業後に警察官になりたいと聞き、当時大学進学しか考えていなかった私の視野が広がりました。そして、いま、福岡県職員として学校事務の仕事をしています。あの時、この道を選んで本当に良かったと日々実感しています。

ご縁があり、令和二年度から二年間京都高校で勤務しました。今の京都生もとても輝いてみえます。私達が在学中に創立百周年キャラクターとして誕生したワンだふるとみやこんも活躍中です。みやびよんという仲間も増えました。京都体操をしている生徒や、職員室前で勉強している生徒を見ると、京都生としての日々を思い出します。同時に、京都高校のことが大好きな自分自身に気付かされ、とても感謝してもしきれ



ない思いで溢れています。代々、先輩方が築いてこられたこの伝統ある京都高校を卒業できたこと、常磐会の一員になれたことを誇りに思います。代々の先輩方、先生方、同級生の方々、本当にありがとうございました。未筆ながら、京都高校のますますの発展を祈り、結びの言葉とさせていただきます。



先生・御苦労様。
皆様・ありがとう。
私気をつけて帰ります。
／進 理奈

フーオーイエ、
ハッハッハッ
最高だぜ BABY!!
／原田 幸一

夢をあきらめずに
自分の道を見つけ
歩いて行きたい
／中山 紀子

華も嵐もふみ越えて
・セニヨリータ
／吉元 ゆかり

でっかい男
になってやる。
／早田 昌生

清らかな少女時代は
もう卒業ね
／宮下 智恵

がんばれ!
サッカー少年!
／木下 正志

If anybody
were to ask
／野美 佳予子

DON'T FORGET ME!
TSUKUSHI IS BEAUTIFUL
／鶴 裕之

色々あったけど
忘れられない
たくさんの思い出
／浦野 亜起子

清く・正しく・美しく
／豊田 順子

いちゃつくふたりは
むかつくふたり
／平良 純子

キンモクセイの
香りはきらいだ!
／新澤 和幸

好きな言葉
"一生懸命"
／白川 茂久

花開かねば、実なし、
やるきの花を咲かせよう。
／下田 大吾郎

一生、巨人一筋で
生きていきます。
／黒江 智津

ファイヤーツ
／吉武 剛

御紹介に預かりまして
僕が有野孝幸です!!
／有野 孝幸

少女だったと
いつの日か
思う時が来るのね
／安藤 純

太っていると、
いいことないネ!
／山中 富士枝

主よ、あわれみたまえ。
／崎田 多恵子

手を伸ばせば
自由はあと少なさ。
／阪本 優紀彦

いつまでも忘れない
／藤村 和紀



思い出文集
～42回生～



Produced by 校友会誌「京都」Vol.5 + α



思い出
アルバム
42回生

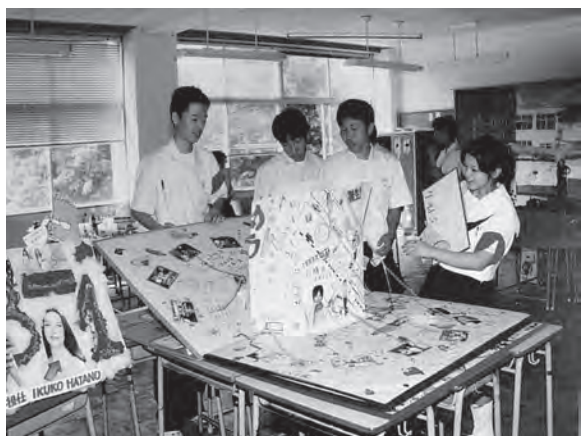


福岡県立京都高等学校同窓会常磐会 2022





思い出
アルバム
55回生



福岡県立京都高等学校同窓会常磐会 2022



福岡県立京都高等学校同窓会常磐会 2022



思い出
アルバム
67回生



福岡県立京都高等学校同窓会常磐会 2022



福岡県立京都高等学校同窓会常磐会 2022



2022年度 常磐会総会
協力回生のつどい

日時 2022年7月2日(土) 18時～
会場 みやこホテル (行橋市)

多くの皆様のご参加ありがとうございました

福岡県立京都高等学校同窓会常磐会 2022



Category 一分類一

※細心の注意をはらって分類したつもりですが、不具合点や、あえて違うカテゴリーに出したいという場合はご連絡ください。

1 食べる

飲料店／居酒屋／バー／食品／酒類販売

2 学ぶ

教育／教養／本／文具／趣味／娯楽／音楽／スポーツ

3 装う

衣料／アクセサリー／宝飾／眼鏡／理容・美容／化粧品

4 医療

病院／歯科／薬剤／整骨／針灸院／養護介護施設／動物医

5 暮らし

生活関連・家電／自動車・運送・サービス
銀行／保険／証券／新聞・印刷／玩具／宗教・冠婚葬祭

6 住む

不動産／住宅設備／上下水道／内外装／園庭／石材

7 製造

各種工業／農林水産／建築／土木／資材

8 官公署 同窓生 個人協賛

官公署／同窓生／個人協賛



ご協賛いただきました皆様へ

2022年度常磐会総会の開催に際し、協賛等ご支援いただき、誠にありがとうございました。

皆様から頂戴いたしました協賛金につきましては、京都高校奨学会への支援金、常磐会総会の開催費用などに充てさせていただきました。

実行委員一同、心より御礼申し上げます。

今後とも、母校京都高等学校のさらなる発展のため、引き続きご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2022年度 常磐会総会実行委員会

高校 42 回生・定時 29 回生

高校 55 回生・高校 67 回生



協賛者様 索引

あ

(株)アートストーンカタギリ 68
 アート・マサル 61
 アーム管工 68
 (株)アール・イー・アール 41
 (へそテン珈琲) 41
 アイネクス(株) 57
 アイルモータースクール豊前 43
 青井管材(有) 66
 青木内科クリニック 51
 亜胡 39
 (有)朝日北部販売 62
 あすなる学習舎 43
 ありの社会保険労務士事務所 59
 有松印章堂 64

い

EIZ English 44
 (有)生駒建機 59

う

上田内科眼科医院 55
 内田医院 55
 宇島瓦斯(株) 66
 宇原神社 63
 うらしま 40

え

AiMS(株) 64
 (有)永幸設備 66
 (医)江頭眼科医院 56
 (株)SKコーポレーション 62
 (有)江副木工所 68

お

(株)OSTクノ 44
 オアシス 57
 大分製紙(株)豊前工場 69
 (有)大塚建材店 66
 大鶴酒店 39
 大鶴酒蔵 39
 大原病院 51
 大村大月堂 38
 岡任工業(株) 70
 岡田硝子支店 66
 岡田硝子店 63
 (株)岡田設備 63
 (有)岡田総合事務所 64
 緒方税理士事務所 59
 岡部医院 51
 おく耳鼻咽喉科 56
 (医)おくながクリニック 49
 奥村建設 68
 (株)奥村商会 67
 長部医院 54
 お食事処 藪 38
 小田朝太郎・山田哲也 77
 お通し居酒屋白紙 41

き

菊田みどり幼稚園 44
 常磐会会員一同 74
 菊田町役場職員 59
 菊田荷役(株) 78
 菊田駅前郵便局 54
 かわもと歯科クリニック 71
 河津工業(株) 54
 かわかみ薬局 41
 カラオケ喫茶 たけの子 40
 からあげKING 45
 髪処ありまつ 39
 カプリス 66
 (有)かつやま不動産 58
 勝山御所カントリークラブ 71
 (株)柏木興産 54
 かざまクリニック 64
 家具の浅川 41
 かくいち 43
 柿野直子(合唱) 63
 皆尺寺司法書士事務所 63
 小波瀬病院 41
 御菓子司鹿の子 55

く

くすりのすみもと 56
 國永事務所 61
 くまがえ内科 55
 クリーニングせいや 39
 久里房 57
 グループホーム 愛の家 54
 有料老人ホーム 虹の家 55
 グループホーム 榮荘ハウス 45
 グレートアンノウン 53
 桑原医院 56
 郡司掛歯科医院 55
 郡谷歯科医院 40

け

京築酒類販売(株) 40

石窯パン工房 自然屋 39
 (株)石田組 71
 石辺歯科医院 51
 旬彩酒房 いしん 39
 (社)福和泉会 44
 (有)一木工業 70
 イヅミ薬局 56
 社会保険労務士法人 58
 いつもここから 53
 (医)井手口医院 54
 いでぐち歯科医院 53
 (有)稲佐鉄工所 70
 (有)井上興産 69
 井上石油(株) 64
 イノクマ薬局 55
 (有)今元ケアサービス 56
 (株)井本冷熱 67
 岩崎乃パン 39

えのきや相談葉舖(株) 52
 エノモト 45
 (有)エムオージーサービス 61
 M'Shair 45
 I studio 45
 (株)エム・ビー・アイ 66
 江本不動産鑑定事務所 66
 円成寺 58

か

小波瀬病院 41
 御菓子司鹿の子 55
 喫茶 オスカ 38
 喫茶 画廊マリ 39
 喫茶 しらかわ 39
 きつちんがーでん こる 39
 耳鼻咽喉科 木村医院 53
 着物bar秋月 38
 キヤサリン亭 40
 九州交通安全(株) 69
 (株)九州コビー 63
 九州製茶(株)寿香園 37
 九州瑞穂(株) 70
 (株)九電工 行橋営業所 67
 錦陵会 72

くすりのすみもと 56
 國永事務所 61
 くまがえ内科 55
 クリーニングせいや 39
 久里房 57
 グループホーム 愛の家 54
 有料老人ホーム 虹の家 55
 グループホーム 榮荘ハウス 45
 グレートアンノウン 53
 桑原医院 56
 郡司掛歯科医院 55
 郡谷歯科医院 40

一

(有)光栄自動車整備工場 63
 幸松塾 44
 幸松塾疋田校 44
 光明寺 60
 (株)古賀商店 37
 古賀陶器店 63
 (有)国土測研 60
 コクリコ・エフ 45
 コスモスクリニック 50
 児玉税理士事務所 61
 後藤歯科医院 56
 寿食堂 41
 (有)コバヤシ 61
 古森総合建設 68
 金剛寺 63

し

椎木ショップ 40
 Share 41
 (有)繁永建設工業 67
 シゲ美容室 45
 (株)慈孝 68
 司法書士安部利幸事務所 64
 志村俊郎税理士事務所 61
 ジュリアン美容室 45
 浄喜寺 58
 浄厳寺 57
 正ノ宮 正八幡神社 60
 正八幡宮 57
 (社)福松風会 50
 浄蓮寺 62
 白川郵便局 78
 新栄会病院 52
 新田原聖母病院 50
 しんもと産婦人科 53

す

(医)すえまつ医院 56
 すえまつ興産(株) 62
 (株)周防 70
 (社)福周防学園 49
 周防灘カントリークラブ 57
 (株)周防灘ビルサービス 65
 杉本クリニック 50
 今井津 大祖大神社 61
 須佐神社 61
 すなつく めんそーれ 39
 スマイルハート 60

せ

スリランカ カリー 37
 シーギリヤ 37
 (社)福清香会 43
 清林寺 62
 セブンイレブン 38
 荻田桜ヶ丘店 38
 セブンイレブン 40
 豊前発電所入口前店 40
 セブンイレブン 40
 行橋行事7丁目店 40
 セブンイレブン 40
 行橋市役所前店 40
 セブンイレブン 41
 行橋辻垣店 41
 セブンイレブン 行橋駅前店 41
 行橋神田町店 39
 行橋大橋2丁目店 39
 禅興寺 59
 善立寺保育園 43

そ

ソームワーク(株) 60
 (有)ソアラ楽器 44
 そえじまゆうこ 56
 ペットクリニック 56
 (有)ダイイチ 68
 (社)福大幸会 58

た

(有)ダイイチ 68
 (社)福大幸会 58

ち

大國段ボール工業(株) 71
 太陽交通(株) 62
 タイラ歯科医院 55
 高城循環器内科医院 51
 高田電機工業所 64
 (株)瀧商店 67
 たけだ(株) 59
 TAKOYAKI 40
 MARO 40
 (医)たじり小児科医院 55
 田添医院 51
 (有)田中印刷所 63

ち

筑後建設 67
 築上町役場 77
 竹林山 松山禅寺 64
 チョキチョキ屋チエルシー 45

つ

土屋整形外科 54

て

テイリーケイ(TEK) 55
 TEA HOUSE 38
 HORN 38
 TAKE FIVE 39
 手紙の中は白紙 2号店 38
 手もみ工房 絆 60

と

(医)唐原内科クリニック 53
 東洋パーツ(株) 70
 常磐会 高校29回生有志一同 73
 常磐会 行橋市役所支部一同 75
 魚鳥炬(トトリコ) 40
 (学)戸早学園 43
 TOMOZO 40
 地酒のともだ 40
 豊津墓苑 64
 豊津郵便局 78
 豊の国司法書士事務所 59
 TOYOMORI 64
 フォトスタジオ 64
 DORA猫kitchen福 39
 吞河豚 37
 (株)ナイストラベル 62
 Nowナウ 39
 長末医院 53
 中原瓦産業 68
 中原農場 70
 (株)中村アルミ建材 65
 (株)ナカムラスポーツ 43
 中村家 40
 中山佛具 59
 Natural balance 40
 菜のはな薬局 55
 (株)ナンバ開発 68

な

(株)ナイストラベル 62
 Nowナウ 39
 長末医院 53
 中原瓦産業 68
 中原農場 70
 (株)中村アルミ建材 65
 (株)ナカムラスポーツ 43
 中村家 40
 中山佛具 59
 Natural balance 40
 菜のはな薬局 55
 (株)ナンバ開発 68



に

西尾和之他4名 77
西田化粧品店 45
西日本ケーシング(株) 37
西日本工業大学 42
西日本シティ銀行 行橋支店 61
西村硝子店 65
(株)西村組 67
日章教販 42
(株)日豊清掃センター 62
(尙)庭治 68

BAR GranZ 41
BAR ほつちきす 39
パール美容室 45
(株)ハウスボトラーズ 38
博多餃子工房 たね屋 39
Baggy Van Zyl 41
函館赤ちようちん 39
(尙)ハタダ設計工務店 71
ハッピーマツサージ鍼灸院 56
(株)花げしき 40
花楓月 38
バナプラザエイシン
(永進電器(株)) 63
Public House
ANCHOR 40
林龍平酒造場 41
原田動物病院 51
原田皮フ科 56

ひ

(株)B.I.C 62
ひえだ診療所・ほとぎの郷 53
ビジネスホテルゆくほし 63
ビッグバン 40
一二三プロバン 63
ひまわりクリニック 53
美容室 TOMTOM倶楽部 45
広松農材 71

フードショップ ひらの 38
(株)ファーム赤松 71
ファミリホームアバン
(株)ケア・ウエル 52
福岡銀行 苅田支店 64
福岡銀行 行橋支店 58
JA福岡京築 69
福島海運(株)
苅田ポートサービス(株) 57
ふくしま整形外科クリニック 46
(尙)福緑園 67
ふじたこ 40
(医)藤田中央医院 54
ふじた内科クリニック 54
豊前海一粒かき 54
豊前カイロプラクティック
豊前松江かき直売所 40
ぶぜん眼科 55
豊前市役所 常磐会会員一同 75
(尙)豊前商会 59

へ

二兒神社 61
フタバ文機(尙) 44
BOOK BOX 44
(株)船津工務店 66
普門寺 59
Blue Drop 63
ぶんぶく茶屋 行橋店 41

Hair make CURA 45
ヘアクラフト グレイス 45
ベビー&キッズ
ホームエンゼル 44
(株)ベルコ行橋営業所 63
ボーカル教室ユニゾン 44
(社)福保誠会 52
(社)福)豊陽会 64
細川建具製作所 63
ものづくり room
Powan 45
Masdagホームリビング 68
松浦モーターズ 64
松岡紀昭税理士事務所 62
松下耳鼻咽喉科医院 52
松延歯科医院 54
(株)マツモト 66
(株)松本組 63

み

松山建設(株) 70
松電産業(株) 68
(尙)マミーベイビー 45
焼き鳥居酒屋 まる 40
マルキガス行橋(株) 67
丸玉総本舗 41
マルミ美容室 45

みずき助産院ひだまりの家 51
みずほ幼稚園 43
みちや薬局 55
葦島神社 62
宮城整形外科 56
(株)みやけ商会建設事業部 66
(二社)京都医師会
京都医師会看護高等
専修学校 50
(尙)京都印刷 87
みやこ家具店 68
京都建材工業(尙) 70
2020 京都高校40回生
有志一同(40・53・65) 76
2021 京都高校41回生
有志一同(41・54・66) 76
京都歯科医師会 47
みやこシステムデザイン 62
みやこ司法書士事務所 62
(社)福)みやこ老人ホーム
みやこの苑 54
(株)みやこの社 59
(株)京都ビルサービス 67
みやこ法律事務所 60

む

みやこホテル 41
(一社)京都薬剤師会 54
宮崎モーターズ 63
宮田運送(株) 63
宮部歯科医院 56
向井米穀店 40
蒸し処 日本晴れ 39
村尾医院 53
村上整形外科医院 56
村上鉄工所(株) 63
(尙)村上電業 71
村越工業(株) 71
村田酒店 39
(株)村橋工務店 65

メガネの正視堂 45
(尙)めぐみ住宅 68
メットライフ生命 吉本敬一 63
MOJO 41
もとむらでんき
百花(ももか) 41
(株)森工業 66
森実商店 42
森のキッチン 40

め

や

やきとり つるちゃん 39
 焼鳥 ともちゃん 39
 矢津内科消化器科クリニック 56
 (株)YANASE 61
 山口園 40
 山崎マシンテック(株) 70
 やまじ内科クリニック 52
 (有)ヤマシヨウ 71
 山田硝子店 68
 やまだタクシー(有) 63
 山びこ保育園 43

ゆ

唯念寺 61
 雄志総合設備(株) (株)雄志 67
 酉福寺 60
 行橋記念病院・行橋園 53
 福岡認知症医療センター 60
 行橋銀行協会 50
 (医)行橋クリニック 60
 (株)行橋玄洋社 64
 (社)行橋市社会福祉協議会 77
 自治労行橋市職員労働組合 43
 行橋市増田美術館 37
 行橋水産(株) 59
 (有)行橋造花店 57
 ゆくはし総合法律事務所 60
 行橋中央病院 48
 やまうち内科クリニック 60
 メディカルホーム 60
 (有)行橋鎮西運送 60

行橋保育園 44
 (有)行橋豊栄不動産 65

ゆげ子どもクリニック 52

よ

横井薬局 56
 YOSAPARK cocoro 64
 (有)吉元塗装工業 68
 (有)米原保険サービス 60

ら

LaLaようこ 64

り

両徳寺 62
 臨海商事(有) 65

る

REPOS 38

れ

(株)レザックス 58
 連合福岡京築田川地域協議会 77

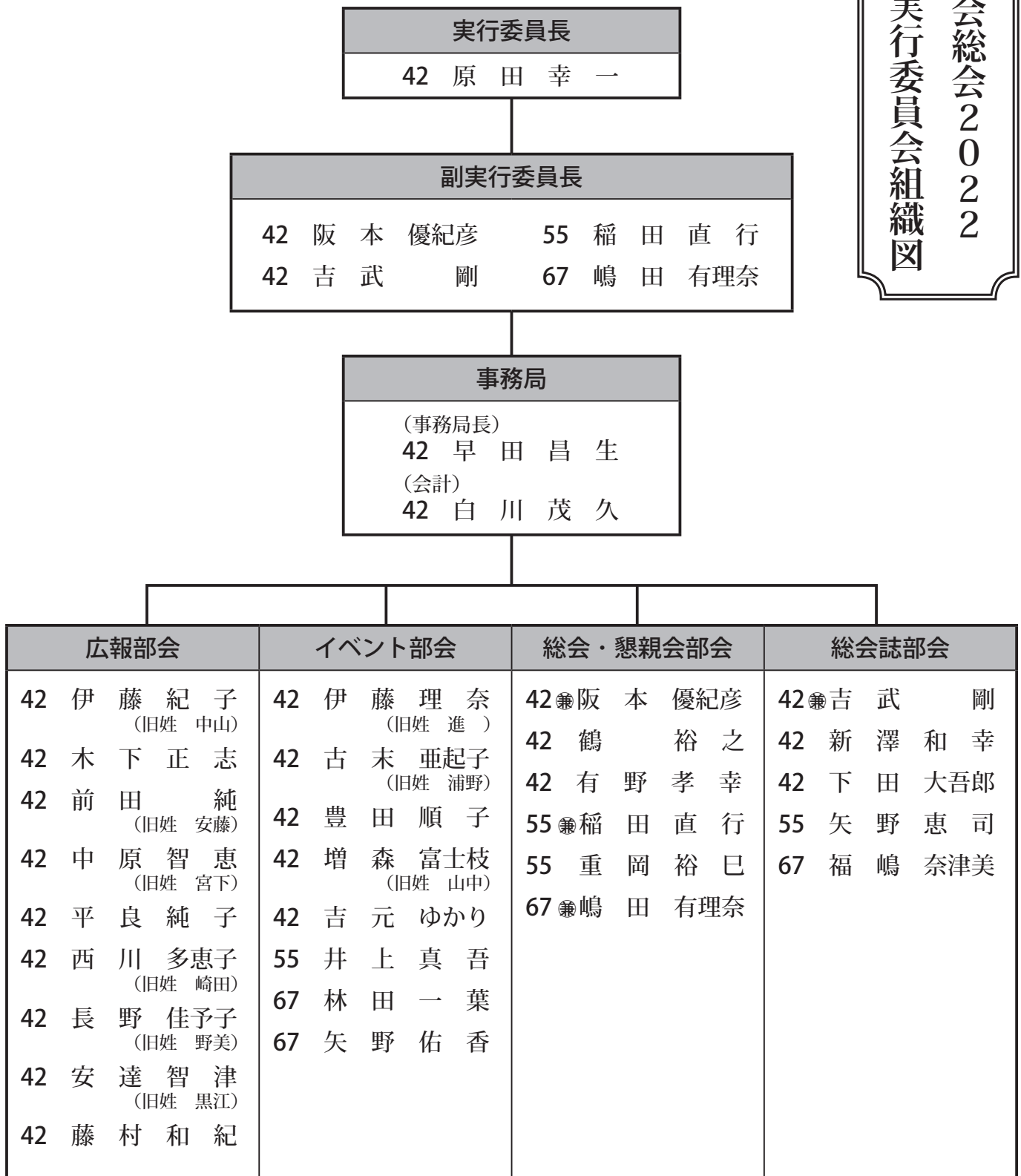
わ

渡辺クリニック 53
 わたなべ歯科クリニック 55



福岡県立京都高等学校同窓会常磐会 2022

常磐会総会2022 実行委員会組織図



編集後記

大正6年の学校創立から105年という歴史ある福岡県立京都高等学校、その同窓会常磐会2022年度総会の開催を心よりお祝い申し上げます。

コロナ禍に入って約2年半、今年度こそはと先輩方の無念を引き継ぎ、実行委員会を開催するも、はじめはたったの7人。経験が豊富にある訳でもなく、すべてが手探り状態でしたが、会議を重ねるうちに人数も増え、事業実施の目途が立ちました。

高校卒業から32年、大きく変わった様相に驚きながらも、昔懐かしい話にも花が咲き、新たな仲間としての絆も芽生えました。また、55回生、67回生の頼もしい後輩たちが参加し、実行委員会にも若さと元気が加わりました。

トラブル等も少なからずありましたが、みんなで同じ苦難を乗り越えた時に得られる物、険しい山に登った後に広がる素晴らしい景色を見るために頑張ってきました。

そして、ようやく総会の日を迎え、実行委員一同安堵の息をつくとともに、総会並びに記念事業を盛会に終われることを願うばかりです。

最後になりますが、本年度総会を開催するにあたり、様々な場面でご支援くださいました常磐会役員及び協賛事業者、学校関係者、先輩、後輩、同窓生の他、関係していただいた皆様のご健勝と常磐会をはじめ我が母校京都高校の発展をご祈念申し上げます。

2022年9月4日

総会誌部会

福岡県立京都高等学校同窓会常磐会 2022



2022年度 常磐会総会誌

発行日 2022年9月4日

発行 2022年度

常磐会総会実行委員会

印刷 有限会社 京都印刷



君を友に みんなと共に ～ 今を楽しく ～



福岡県立京都高等女学校同窓会



福岡県立京都高等学校同窓会

(当番回生)

平成2年卒業 高校42回生・平成2年卒業 定時29回生
平成15年卒業 高校55回生・平成27年卒業 高校67回生